

# SD-205F 火災通報装置

## 取扱説明書

(一財) 日本消防設備安全センター 適合認定品  
SD-205F 火災通報装置 火通-041号  
(一財) 電気通信端末機器審査協会 技術基準適合認定品  
SD-205F 火災通報装置 A16-0095001  
RTC-203F 火災通報専用電話機 P96-0021-0

サクサ株式会社

平成28年4月改正告示適合品



# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本文中のマーク説明



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この装置は、日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。  
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- お読みになったあとは、この別冊をいつでも見られる場所に、必ず保管してください。



## 警告

- ◆装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。(分解・改造は法律で禁止されています)
- ◆表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、付属以外の電源プラグを使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ◆電源プラグは確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属等が触れると火災・感電の原因となります。
- ◆ボイラーや加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ◆電源プラグのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。また電源プラグのコードが傷んだときは(芯線の露出・断線等)当社の本社・支社・支店に修理を依頼してください。
- ◆濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆装置に水が入ったりしないようにご注意ください。また、水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。万一、水が入ったときは、電源プラグを抜いてから当社の本社・支社・支店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・感電の原因となります。
- ◆雷が激しいときは、電源プラグ、電話回線コードに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆装置のそばにクリップ・安全ピンなどの金属類を置かないでください。端子がショートし、火災・感電・熱発生によるやけどの原因となります。
- ◆装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ◆テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- ◆傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに設置しないでください。落下・転倒の恐れがあり、けがの原因となります。また、万一、落下、転倒により破損したときは、電源プラグを抜いてから当社の本社・支社・支店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆装置のバッテリーは、必ず専用のもので使ってください。また、バッテリーは火の中に投入したり、分解や加熱しないでください。火災・けがの原因となります。
- ◆この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A



## 注意

- ◆装置を壁掛けにすると、装置の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- ◆電池を入れるときは、極性表示（⊕と⊖の向き）に注意し、指示通りに入れてください。また、指定以外の電池の使用はしないでください。
- ◆装置は屋内専用です。屋外や屋側には設置しないでください。
- ◆水滴、蒸気、埃、腐食性ガス等の多い場所では、設置しないでください。特性を劣化させることがあります。
- ◆直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ◆調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ◆装置の電源プラグのコードを熱器具に近づけないでください。送信機の電源プラグのコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ◆電源プラグの刃にほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆装置を移動させる場合は、必ず電源プラグ、電話回線コードを抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ◆装置の信頼性を維持、確保するため、および使用者の安全性を確保するため必ず接地アースを接続してください。
- ◆工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。配線クズなどが残っている場合、ショートや故障の原因となります。
- ◆保守点検の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また通電中に行う場合は、感電に気をつけて行ってください。

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 概要 .....	1
3. システム構成例 .....	1
4. 仕様 .....	3
4-1. 適用回線 .....	3
4-2. ダイヤル種別 .....	3
4-3. 通報先 .....	3
4-4. 入力 .....	4
4-5. 出力 .....	4
4-6. 電気的特性 .....	4
4-7. 火災通報装置の耐用年数 .....	4
4-8. 寸法・重量 .....	4
5. 各部の名称と工事説明 .....	5
5-1. 各部の名称とはたらき .....	5
5-2. 火災通報装置内部の各部名称 .....	6
5-3. 外観・外形寸法図 .....	9
5-4. 火災通報装置の設置 .....	10
5-5. 添付品 .....	10
5-6. 端子台の用途 .....	11
6. 接続方法 .....	12
6-1. 火災通報専用電話機との接続 .....	12
6-2. 短絡監視を行う場合の接続 .....	13
6-3. 断線監視を行う場合の接続 .....	14
6-4. 電話回線および電話機との接続 .....	15
6-5. 電源の接続 .....	15
6-6. バッテリーの接続 .....	15
6-7. RT-205F 電話機増設装置（オプション）との接続 .....	16
6-7-1. 概要 .....	16
6-7-2. システム構成例 .....	16
6-7-3. 仕様 .....	16
6-7-4. 添付品 .....	16
6-7-5. 工事要領 .....	17

## 目次

6-7-6.	配線図	18
6-7-7.	取付工事	19
6-8.	RTC-202F 電話機増設装置（オプション）との接続	20
6-8-1.	概要	20
6-8-2.	システム構成例	20
6-8-3.	仕様	20
6-8-4.	添付品	20
6-8-5.	工事要領	21
6-8-6.	配線図	22
6-8-7.	取付工事	24
6-9.	PS-121 増設電源装置（オプション）との接続	24
6-9-1.	概要	24
6-9-2.	機能	24
6-9-3.	仕様	24
6-9-4.	添付品	25
6-9-5.	配線図	25
6-9-6.	取付工事	26
6-10.	RTC-204F 電話機増設装置（オプション）との接続	27
6-10-1.	概要	27
6-10-2.	システム構成例	27
6-10-3.	仕様	27
6-10-4.	添付品	27
6-10-5.	工事要領	28
6-10-6.	配線図	29
6-10-7.	取付工事	30
6-11.	ターミナルアダプタ TA/T との接続	30
6-12.	火災通報ベル、消防確受ランプ等との接続	31
7.	設定および登録	32
7-1.	ディップスイッチによる設定（SW1）	32
7-2.	ジャンパーによる設定（JP2、JP3/JP5）	32
7-3.	テンキーと7セグメント LED による登録と確認方法	33
7-3-1.	設定の登録方法	33

## 目次

7-3-2.	設定の確認方法	36
7-3-3.	設定の消去方法（一般通報先電話番号のみ）	37
7-3-4.	全登録内容の初期化方法（工場出荷時設定にもどす場合）	37
7-3-5.	通報メッセージの試験方法（聴取）	38
7-3-6.	通報動作の試験方法	39
7-3-7.	バッテリーの試験方法	40
7-3-8.	F1、F2 ルートの断線試験方法	40
7-3-9.	ソフトウェアバージョンの確認方法	41
8.	機能	42
8-1.	通報の優先順位機能	42
8-2.	強制切断機能	42
8-3.	火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能	42
8-4.	火災通報ボタン、自火報の断線検出機能	44
8-5.	LAMP 出力・BELL 出力機能	45
8-6.	メッセージ送出機能	46
9.	使用方法	47
9-1.	操作方法	47
9-1-1.	通報の開始	47
9-1-2.	119 番へのメッセージ送出	47
9-1-3.	119 番との通話	48
9-1-4.	誤って火災通報ボタンを押してしまった場合	48
10.	保守	49
10-1.	動作試験	49
10-2.	自動火災報知設備からの通報を停止する	50
10-3.	添付ラベルの貼付	52
10-4.	バッテリーの動作確認	53
10-5.	ヒューズの交換について	53
10-6.	火災通報ボタンのアクリルカバー交換について	53
11.	IP 電話回線のご利用にあたっての注意事項	54
12.	トラブルシューティング	55



## 火災通報装置をご使用にあたっては、 下記の項目について十分に留意してください。

1. 火災通報装置は、火災のみに使用できるものであり、救急要請または救助要請などの通報には使用できません。
2. 火災通報装置は、当該設備を設置した防火対象物の火災の通報のみに使用できるものであり、隣棟等の火災の通報は一般の電話機にて行ってください。
3. 火災通報装置により通報した後、誤報が判明した場合には直ちに本装置または、火災通報専用電話機にて取消操作を行ってください。  
消防機関から呼返しがあつた場合には、速やかに火災通報専用電話機の受話器をとって誤って通報したことを伝えてください。
4. 火災通報装置により通報した後、火災状況に関する具体的な内容について、消防機関から呼返しがあつた場合には、速やかに火災通報専用電話機の受話器をとって説明してください。
5. 火災通報装置の設置・工事にあたっては、消防設備士甲種第4類の免許が必要です。  
また、常に適正な通報が行えるように定期的に保守点検を受けてください。
6. 火災通報装置は、自動火災放置設備の作動や火災通報ボタンの操作により、火災発生を通報をおこないます。したがって消火を行う装置ではありません。  
万一の事故・災害による損害については、責任を負いかねますので了承ください。

## 火災通報装置 設置にあたっての注意事項

1. 火災通報専用電話機を使用しない場合の注意事項  
火災通報装置の通話割込機能を有効に活用するために、一般電話機は火災通報装置を操作出来る範囲内に設置して下さい。
2. 電話機増設装置を使用する際の注意事項  
電話機増設装置に火災通報専用電話機を接続する際は、配線図に従い、電話機増設装置に添付されている抵抗（560Ω、1/2W）を必ず接続して下さい。  
（抵抗を接続しないと、火災通報専用電話機の応答確認ランプの破損につながります。）

## 1. はじめに

この取扱説明書は、SD-205F 火災通報装置（以下「火災通報装置」という）の工事、機能設定、試験等の手順および注意事項について説明したものです。

皆様の生命・財産を火災から守るため、本取扱説明書に従い正しく各機器を使用してください。

## 2. 概要

火災通報装置は、自動火災報知設備（以下「自火報」という）の作動や火災通報ボタンを押すことにより起動し、119番（消防）（以下「119番」という）へ自動的に“火災発生”を知らせるシステムです。

火災通報装置が起動すると自動的に119番にダイヤルし、あらかじめ登録された音声メッセージにより防火対象物の名称、所在、電話番号などを連絡することができます。

119番に通報が行われると119番からの呼び返し（以下「逆信」という）があり、RTC-203F 火災通報専用電話機（以下、火災通報専用電話機）または一般電話機（専用電話機として使用している場合）で応答し、火災の規模、負傷者の有無などの連絡を行うことで通報が終了します。

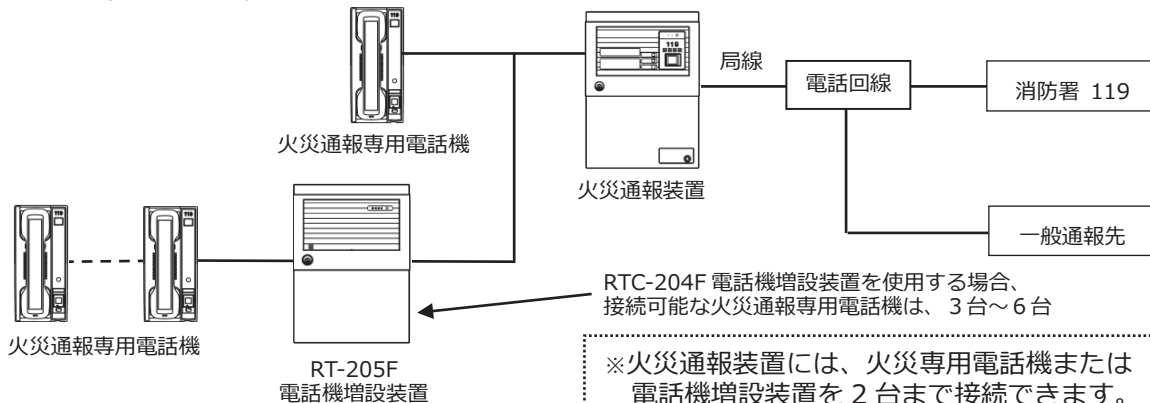
119番への通報が終了すると、あらかじめ登録された一般通報先へ自動的に同じ内容のメッセージを通報します。（最大16ヶ所の登録が可能です。）

## 3. システム構成例

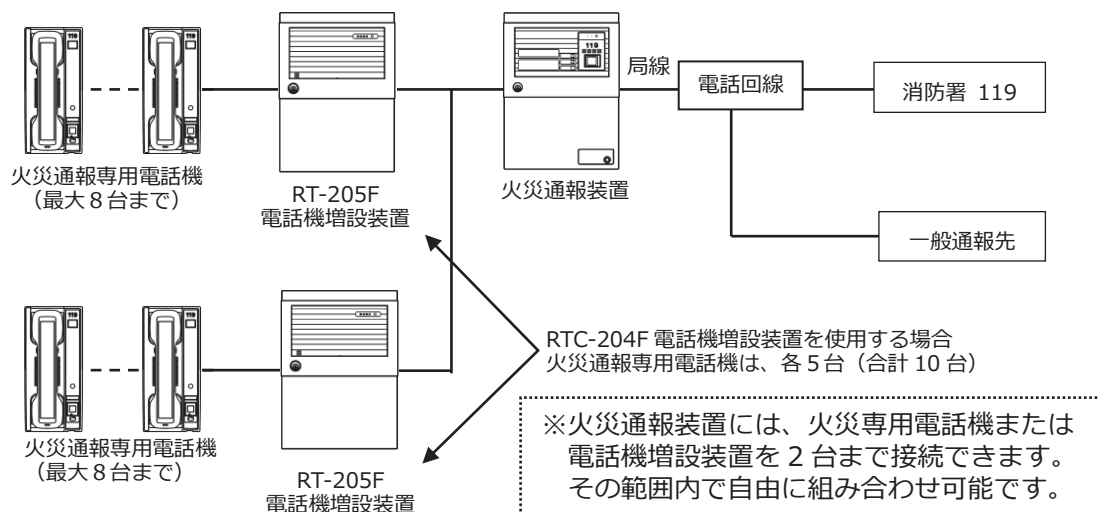
### (1) 火災通報専用電話機を1～2台で使用する場合



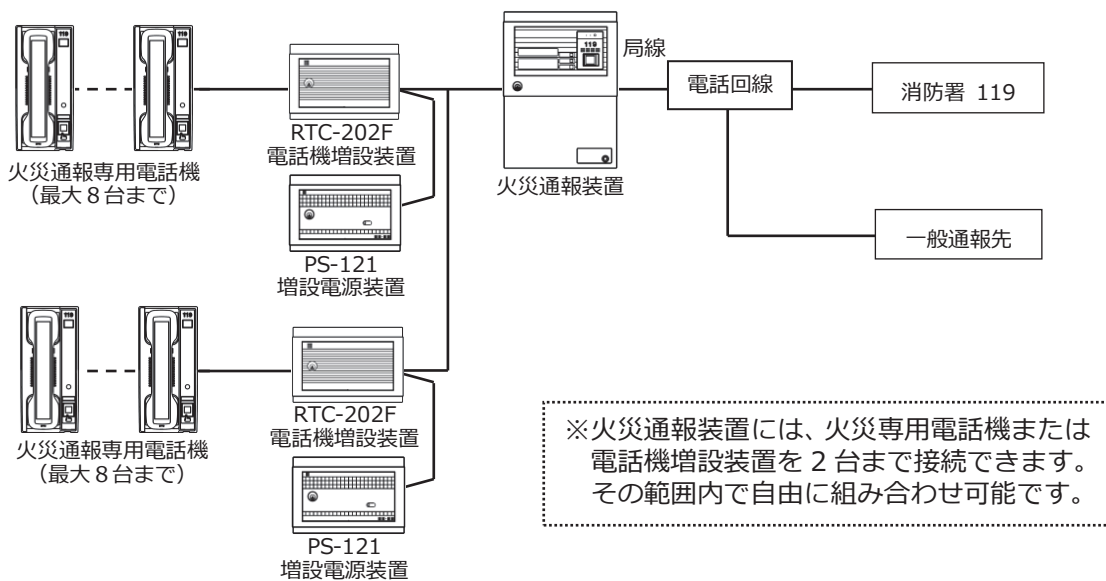
### (2) 火災通報専用電話機を3～9台で使用する場合



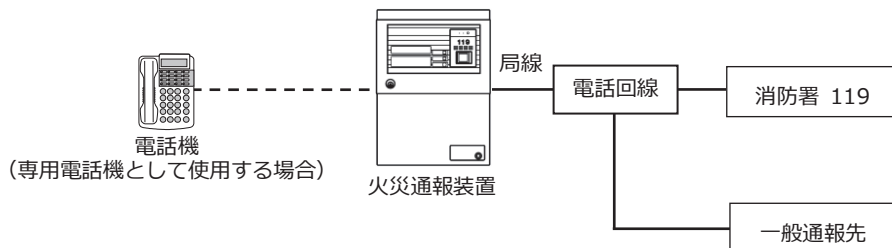
(3) 火災通報専用電話機を 6～16 台で使用の場合 (その 1)



(4) 火災通報専用電話機を 6～16 台で使用の場合 (その 2)



(5) 火災通報装置のみで使用の場合 (火災通報専用電話機なし)



## 4. 仕様

### 4-1. 適用回線

一般加入者回線、事業所集団電話回線、IP 電話回線

- 注 1. 構内交換機の内線側には接続できません。
- 注 2. FAX および留守番電話が接続されている電話回線は使用できません。
- 注 3. ISDN 回線に接続する場合は、必ずサクサ(株)製ターミナルアダプタ TA/T をご使用ください。(6-11. ターミナルアダプタ TA/T との接続 参照)
- 注 4. 119 番への発信、119 番からの逆信ができない回線には使用できません。  
(例. 050-・・・の IP 電話、など)
- 注 5. 火災通報装置を接続する回線 (IP 電話回線アダプタ等のアナログポート含む) が通報先応答にて極性反転 (リバース) しない場合、一般通報機能を使用できません。
- 注 6. IP 電話回線をご使用になる場合には、関係する省令、告示に従い、設置・運用してください。  
(11. IP 電話回線のご利用にあたっての注意事項 参照)
- 注 7. 火災通報装置を接続する回線が、通報先応答にて極性反転 (リバース) しない通報先は、一般通報機能の通報先に登録できません。  
(例. フリーダイヤル® 等の着信課金サービスへの通報)

※フリーダイヤル® は、NTT コミュニケーションズの登録商標です。

### 4-2. ダイヤル種別

DP (10/20PPS) /PB

### 4-3. 通報先

通報先ダイヤル番号	119 または 0119 と一般通報 (最大 24 桁)
通報先容量	119 と一般通報 16 ヶ所
不応答先への再ダイヤル	決められた時間間隔で 98 回 (119 番) 決められた時間間隔で 1 ヶ所あたり 17 回 (一般通報)
メッセージ	音声メッセージ 2 種類

注. 0119 は事業所集団電話回線に接続したときに使います。

#### 4-4. 入力

火災通報ボタン・自火報… 2 (無電圧 a 接点入力)

#### 4-5. 出力

火災報知ベル…………… 1 (リレー接点 : a 接点出力、接点容量 : DC12V、1A)

消防確受ランプ…………… 1 (リレー接点 : a 接点出力、接点容量 : DC12V、1A)

ボタン線短絡/断線…………… 1 (オープンコレクタ : DC12V、0.5A)

#### 4-6. 電気的特性

電源	AC100V±10% (50/60Hz) バッテリー内蔵可
外部供給電源	DC12V (+3V、-2V) 最大 300mA
使用温湿度範囲	-5℃~+40℃ 30%~80% (結露なきこと)
消費電力	待機時 7VA、動作時 15VA (最大負荷時)
停電動作	最大負荷時 : 1 時間待機状態経過後、10 分間の通報動作が可能 外部出力等負荷なし時 : 6 時間待機状態経過後、10 分間の通報動作が可能

#### 4-7. 火災通報装置の耐用年数

7年

#### 4-8. 寸法・重量

火災通報装置

外形寸法・重量 : 315(H)×230(W)×65(D)mm 約 1.8kg (バッテリー含む)

火災通報専用電話機

外形寸法・重量 : 220(H)×100(W)×76(D)mm 約 0.6kg

## 5. 各部の名称と工事説明

### 5-1. 各部の名称とはたらき

#### (1) SD-205F 火災通報装置

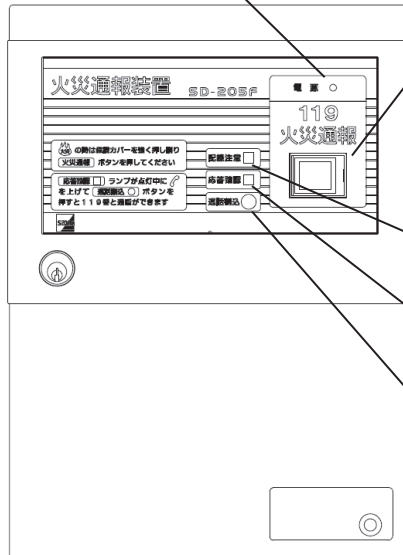
##### 電源ランプ (緑)

AC100V 電源にて動作中は点灯します。  
バッテリーにて動作中は1秒周期にて点滅します。

なお、通報動作中は必ず0.5秒周期にて点滅します。

##### 火災通報ボタン

火災時に保護カバーを押し割り、火災通報ボタンを押してください。  
119番に自動通報します。



##### 配線注意ランプ (赤/黄)

ボタン線異常で黄点滅します。  
通報停止中には赤点灯します。

##### 応答確認ランプ (赤)

119番および一般通報ダイヤル中に点滅します。  
応答後は点灯します。

##### 通話割込ボタン

通報の取り消し、通話割り込み、通報停止を行います。  
(※)

#### (2) RTC-203F 火災通報専用電話機

音量調節スイッチ  
スピーカー音量の調節をします。

##### 応答確認ランプ (赤)

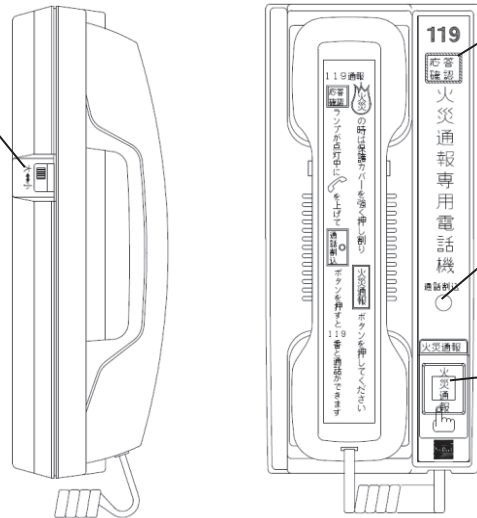
119番および一般通報ダイヤル中、点滅します。  
応答後は点灯します。

##### 通話割込ボタン

通報の取り消し、通話割り込みを行います。  
(※)

##### 火災通報ボタン

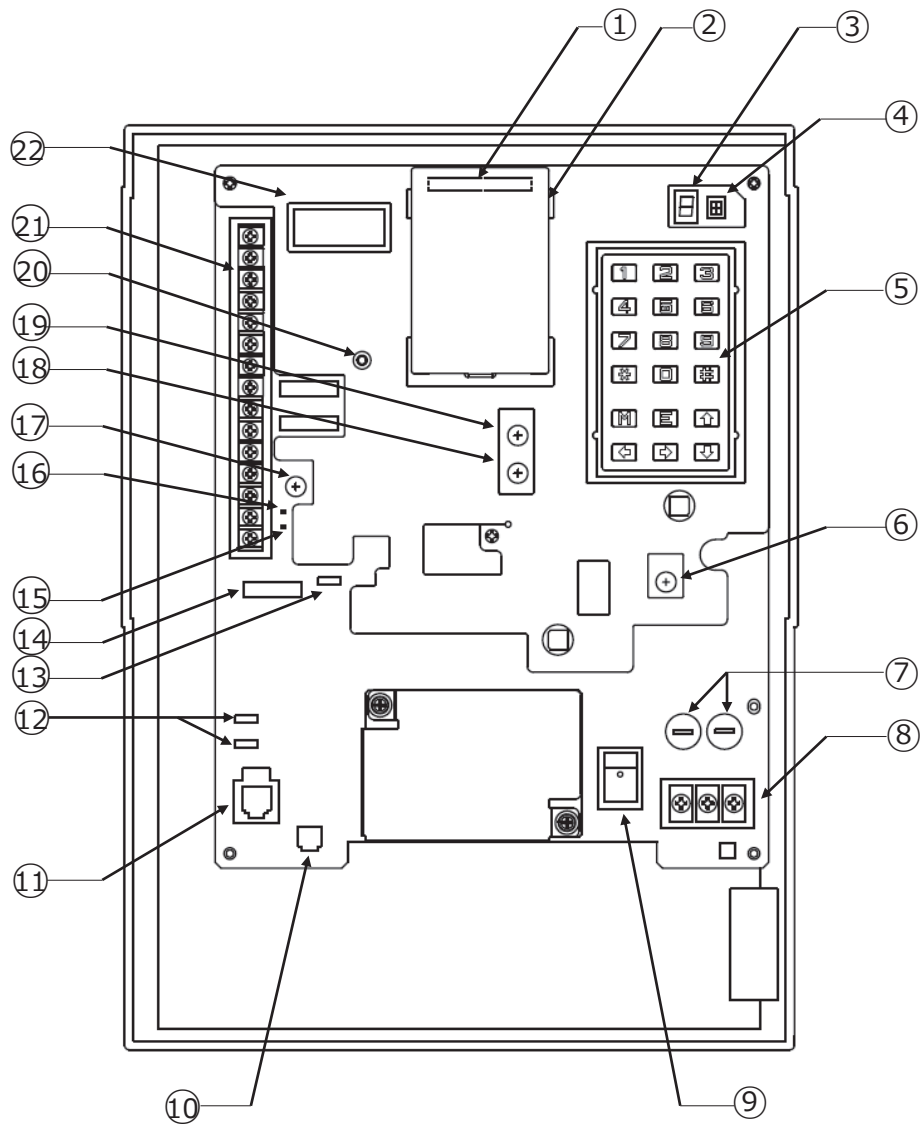
火災時に保護カバーを押し割り、火災通報ボタンを押してください。  
119番に自動通報します。



※火災通報装置と火災通報専用電話機の「通話割込ボタン」の機能について

- ・通報取り消し (火災通報装置、火災通報専用電話機どちらも機能します)  
応答確認ランプが点滅中、通話割込ボタンを押すと通報を取り消すことができます。
- ・通話割り込み (火災通報装置、火災通報専用電話機どちらも機能します)  
119番が応答後、通話割込ボタンを押すと119番とすぐに通話ができます。
- ・通報停止 (火災通報装置のみ機能します)  
長押しすることにより、自火報入力による119番通報を停止することができます。

## 5 - 2. 火災通報装置内部の各部名称



番号	名称	はたらき
1	音声 ROM パック用コネクタ (CN6)	不定フリーズを記録した音声 ROM パックを挿入します。
2	音声 ROM パック	通報メッセージの不定フリーズを記憶しています。
3	登録・確認用 7 セグメント LED (LD1)	登録内容等を表示します。
4	設定用ディップスイッチ (SW1)	通報テスト時使用します。
5	登録・確認用テンキー	設定の登録および内容の確認を行う際に使用します。 ご使用前に設定必要事項を登録してください。 (7-3. テンキーと7セグメント LED による登録と確認方法 参照)
6	モニター音量調整用ボリューム (RV1)	モニター時の本体内蔵のスピーカー音量を調整します。 右に廻すと音量が大きくなります。
7	AC100V 電源ヒューズ (F1、F2) 【日本製線：FSL 250V 1A】	AC100V 電源用保護ヒューズです。 電源ランプが点灯しないときは点検してください。
8	AC100V 電源入力端子台 (TB2)	AC100V 電源を接続してください。
9	電源スイッチ (SW3)	AC100V 電源の「入」「切」を行います。
10	バッテリー用コネクタ (CN5)	停電用バッテリーのコネクタを接続します。
11	回線、電話機用 モジュラーコネクタ (CN1)	電話回線・電話機を接続します。
12	逆信時の電話機ベル鳴動ジャンパー (JP2、JP3)	逆信時の電話機のベル鳴動を設定します。 JP2、3 は必ず同一の設定にしてください。 ON 側：火災通報専用電話機・電話機の両方が鳴ります。 OFF 側：火災通報専用電話機のみ鳴ります。 初期設定は OFF 側です。
13	火災専用電話機使用ジャンパー (JP5)	ON 側：火災通報専用電話機を使用しない場合 (一般電話機の使用時) OFF 側：火災通報専用電話機を使用する場合 初期設定は OFF 側です。
14	外部電源出力用ヒューズ (F3) 【日本製線：FBR 250V 0.5A】	外部電源出力の保護ヒューズです。 出力されないときは点検してください。
15	断線用ランプ (LD6)	F1 ルート、F2 ルートの配線が断線した場合に点滅します。 点滅の際には、配線の確認をしてください。 (8-4. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能 参照)
16	短絡用ランプ (LD5)	F1 ルート、F2 ルートの配線が短絡した場合に点滅します。 点滅の際には、配線の確認をしてください。 (8-3. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能 参照)



17	火災通報専用電話機の モニター音量調整用ボリューム (RV2)	火災通報専用電話機のスピーカーへ出力する音量を 調整します。 右に廻すと音量が大きくなります。
18	固定フレーズ音量調整用ボリューム (RV4)	通報メッセージの固定フレーズ部の音量を調整します。 右に廻すと音量が大きくなります。
19	不定フレーズ音量調整用ボリューム (RV3)	通報メッセージの不定フレーズ部の音量を調整します。 右に廻すと音量が大きくなります。
20	リセット (SW2)	通常は使用しません。
21	端子台 (TB1)	外部機器との接続用端子台です。
22	Dsub9 ピンコネクタ (CN11)	未使用 (メーカー保守用)

(※) 音声 ROM パックは火災通報装置毎に専用のものを使用して下さい。

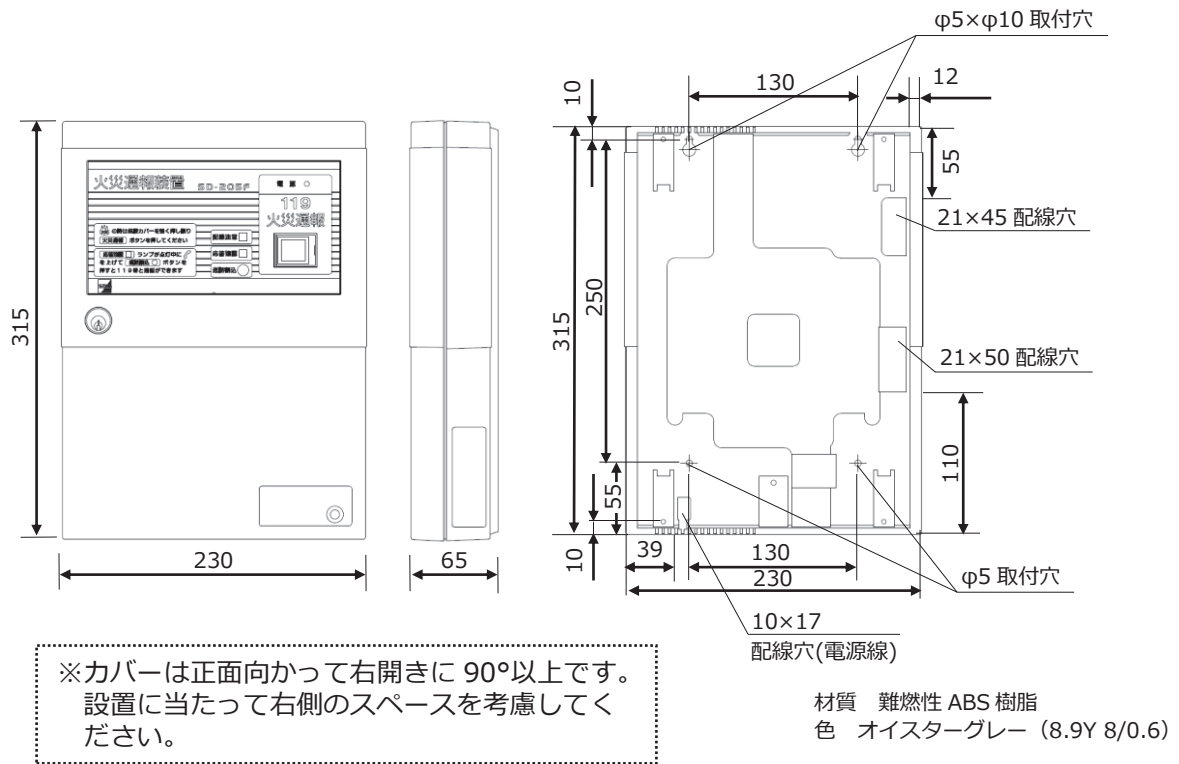
下表に製品毎に使用可能な ROM パックを示します。

この組み合わせでなければ取付けはできませんので、ご注意願います。

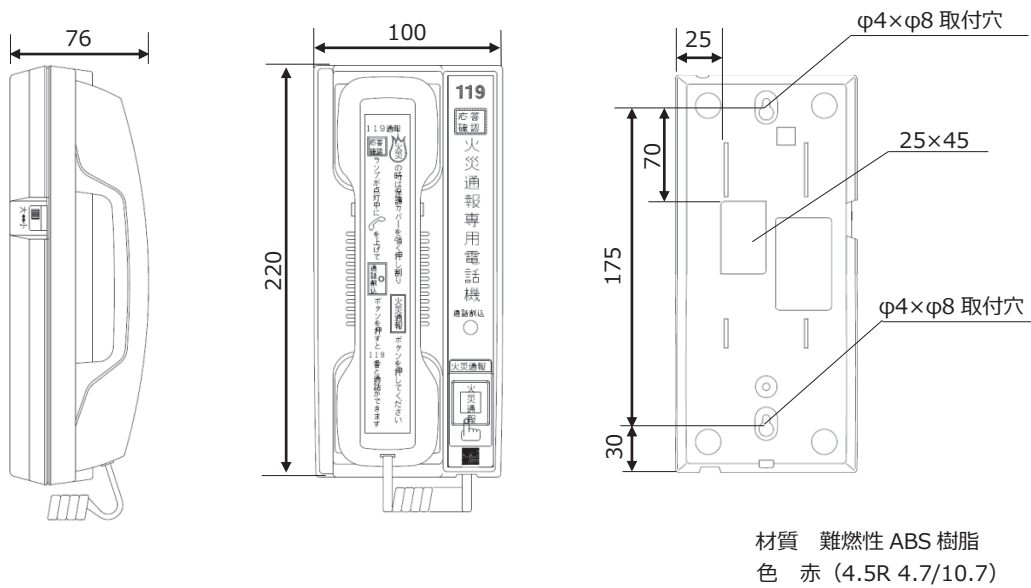
火災通報装置の品名	使用可能な音声 ROM パックの品名
SDE-204F (3) 火災通報装置	EPC-III
SDE-204F (4) 火災通報装置	EPC-IV または RP-5
SD-205F 火災通報装置	EPC-IV または RP-5

### 5-3. 外観・外形寸法図

(1) SD-205F 火災通報装置 (単位: mm)




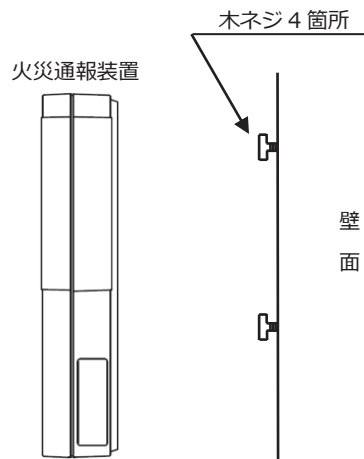
(2) RTC-203F 火災通報専用電話機 (単位: mm)



#### 5-4. 火災通報装置の設置

- ・ 専用電源にできない場合は、事前に所轄の消防署に確認してください。
- ・ 火災通報装置は壁掛専用です。保守点検時を考慮した高さで設置してください。
- ・ 壁がコンクリートのときは拡張型基礎ボルト4本を打ち込み固定してください。
- ・ 壁が木製の場合で、本体の重量を充分支えられる強度があれば木ネジにて固定します。ベニア等、強度が充分でない場合には補強工事を施してから固定してください。

 **注意**  
壁掛型となっていますので、  
取付の際は機器の落下に  
注意してください。  
けがの原因となります。



#### 5-5. 添付品

- |  |       |     |
|--|-------|-----|
| (1) RP-5口ムパック (別途)                       | ..... | 1 個 |
| (2) バッテリー                                |       |     |
| (FDK 製 : FML1208 相当品、12V 0.8Ah 鉛蓄電池)     | ..... | 1 個 |
| (3) 電源コード                                | ..... | 1 本 |
| (4) 鍵 (T-106)                            | ..... | 2 本 |
| (5) ヒューズ 0.5A (日本製線 : FBR 250V 0.5A 相当品) | ..... | 1 本 |
| (6) ヒューズ 1.0A (日本製線 : FSL 250V 1A 相当品)   | ..... | 2 本 |
| (7) モジュラーケーブル (6P 200mm)                 | ..... | 1 本 |
| (8) 露出タイプローゼット                           | ..... | 1 個 |
| (9) 取扱説明書                                | ..... | 1 部 |
| (10) 火災通報装置本体用保護カバー                      | ..... | 2 個 |
| (11) 火災通報専用電話機用保護カバー                     | ..... | 2 個 |
| (12) ダイオード (シリコンダイオード 250V、1A 相当品)       | ..... | 4 本 |
| (13) 終端用抵抗 (33 kΩ、1/4 W)                 | ..... | 2 本 |
| (14) 停電用電池交換注意ラベル                        | ..... | 1 枚 |
| (15) 故障時連絡先銘板                            | ..... | 1 枚 |

## 5 - 6. 端子台の用途

### (1) LS1、LS2 (通話用配線)

火災通報専用電話機の L1、L2 端子に接続します。

### (2) SP、GND (モニタースピーカ)

火災通報専用電話機の SP、GND 端子に接続します。

### (3) HOOK (電話機のフック)

火災通報専用電話機の HOOK 端子に接続します。

### (4) LED (応答用確認ランプ)

火災通報専用電話機の LED 端子に接続します。

### (5) F1+、F1- (F1 ルート)

火災通報専用電話機の F+・F- に接続します。

また、火災通報ボタンの接続端子としても使用できます。(a 接点) (※ 1)

### (6) CLR (通話割込)

火災通報専用電話機の CLR 端子に接続します。

### (7) F2+、F2- (F2 ルート)

自火報または火災通報ボタンを接続します。(a 接点) (※ 1)

### (8) BELL

火災報知ベル用の出力です。(a 接点 GND 出力) (※ 2)

### (9) LAMP

消防確受ランプ用の出力です。(a 接点 GND 出力) (※ 2)

### (10) EXT

F1 または F2 ルートの配線が短絡または断線したときの出力です。

(オープンコレクタ出力)

### (11) +12V

外部出力電源です。(DC12V、300mA)

(※ 1) 自火報、火災通報ボタンで短絡監視を行う場合の配線は、

6 - 2. 短絡監視を行う場合の接続 を参照してください。

火災通報専用電話機、自火報、火災通報ボタンで断線監視を行う場合の配線は、

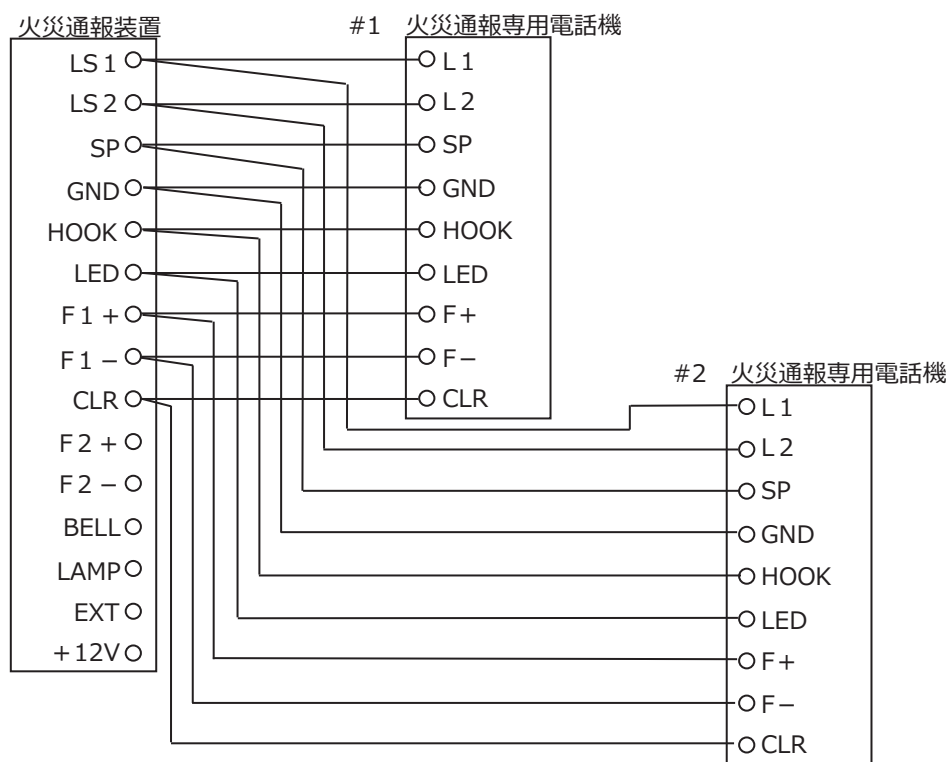
6 - 3. 断線監視を行う場合の接続 を参照してください。

(※ 2) 出力動作は 8 - 5. LAMP 出力・BELL 出力機能 を参照してください。

## 6. 接続方法

### 6-1. 火災通報専用電話機との接続

#### (1) 接続図



#### (2) 接続条件について

火災通報装置には、火災通報専用電話機または電話機増設装置を2台まで接続できます。

その範囲内で自由に組み合わせ可能ですが、火災通報専用電話機を3台以上使用する場合は電話機増設装置が必要となります。(例は、「3. システム構成例」を参照)

また、火災通報装置と火災通報専用電話機との配線距離の目安は以下の通りです。

火災専用電話機 1 台の場合		火災専用電話機 2 台の場合	
火災通報装置から火災通報専用電話機まで		火災通報装置から火災通報専用電話機まで	
線路径	総延長	線路径	総延長
φ0.5mm	100m	φ0.5mm	80m
φ0.65mm	150m	φ0.65mm	100m
φ0.9mm	200m	φ0.9mm	150m

※上記以上の距離で配線する場合、火災通報装置から火災専用電話機までの配線ループ抵抗は「20Ω以下」となるようしてください。

また、配線経路によってはノイズ等が混入しやすくなる場合がありますので、ツイスト線、シールド線を使用するなどのノイズ対策を行ってください。

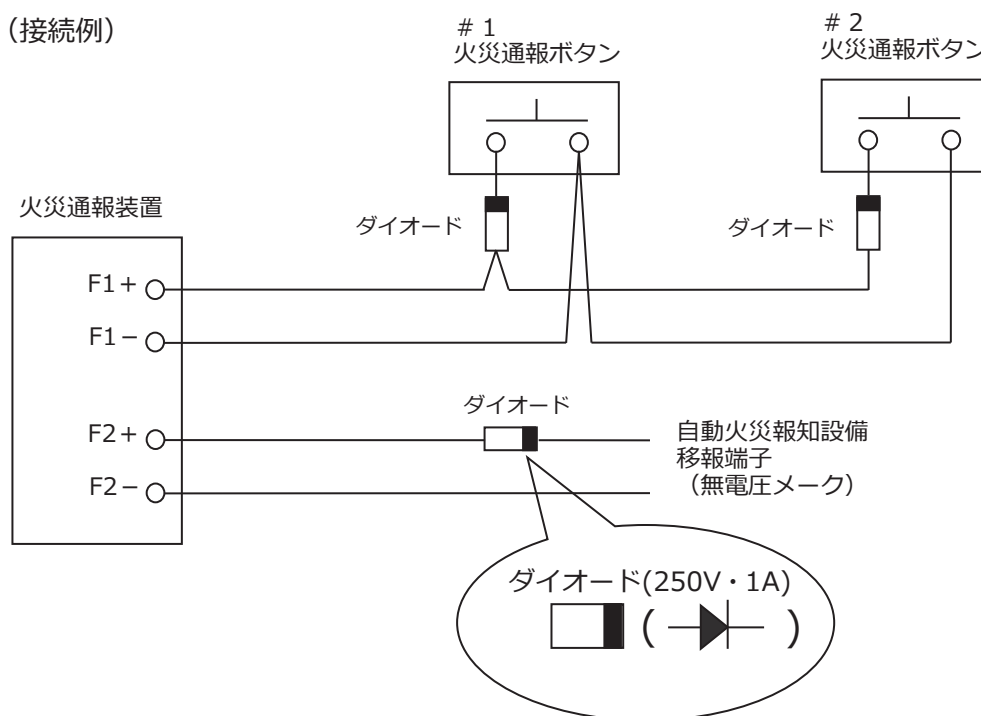
## 6-2. 短絡監視を行う場合の接続

火災通報装置と火災通報ボタン (F1 ルート)、火災通報装置と自火報または火災通報ボタン (F2 ルート) 配線の短絡監視を行う場合には、以下のように配線してください。

また、登録内容一覧にある短絡監視機能を「あり」にしてください。

(7-3. テンキーと7セグメント LED による登録と確認方法 参照)

(接続例)



※短絡監視機能を「なし」にした場合、ダイオードの接続は不要となります。

このとき、配線の短絡が発生すると火災通報ボタンが押されたと判断し、119番通報動作を行います。

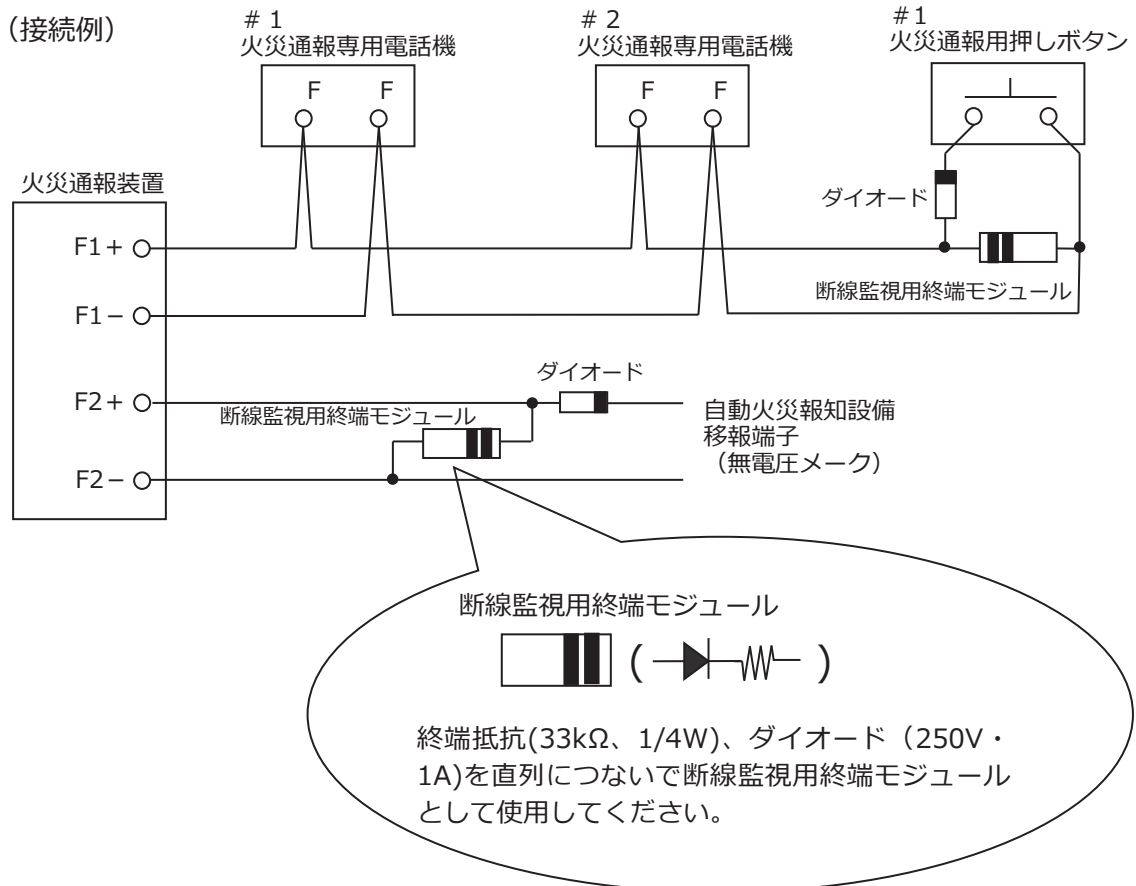
※ダイオードには向きがありますので、配線にはご注意ください。

### 6-3. 断線監視を行う場合の接続

火災通報装置と火災通報専用電話機および火災通報ボタン（F1 ルート）、火災通報装置と自火報または火災通報ボタン（F2 ルート）配線の断線監視を行う場合には、以下のように送り配線としてください。

また、登録内容一覧にある断線監視機能を「あり」にしてください。

（7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法 参照）

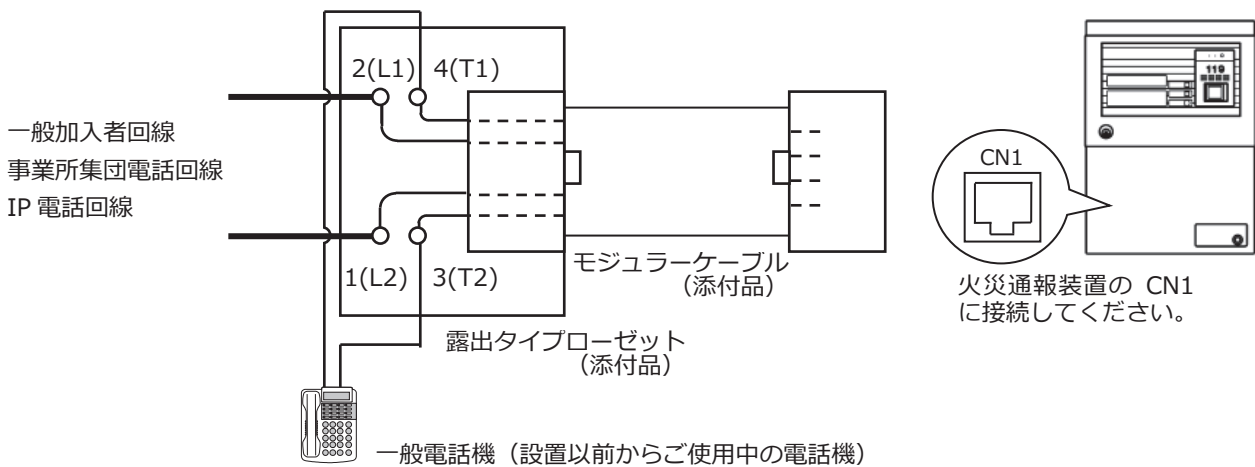


- ※添付の断線監視用終端モジュールの配線位置は、送り配線で火災通報装置から最も遠い箇所に配線してください。それ以外の箇所で配線した場合は、断線監視が正常に動作しません。
- ※ダイオードには向きがありますので、配線にはご注意ください。
- ※火災通報装置から並列配線を行った場合には、断線監視は出来ません。
- ※断線監視動作は、約1時間に1回の周期で行います。その際、リレー動作音「カチッ」と聞こえることがありますが、機器の故障ではありません。

## 6-4. 電話回線および電話機との接続

火災通報装置を一般加入者回線・事業所集団電話回線・IP 電話回線に接続する場合は、回線モジュラーケーブルを火災通報装置のモジュラーコネクタ（CN1）に接続します。

設置以前からご使用中の電話機がある回線に接続する場合は、露出タイプローゼット（添付品）を以下のように配線して使用します。



※PBX・ボタン電話等を接続する場合、  
接続する機器の取扱説明書を確認してください。

## 6-5. 電源の接続

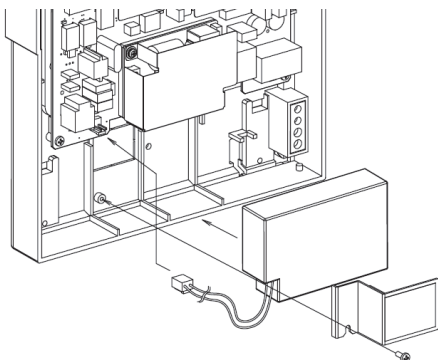
火災通報装置への AC100V 電源入力は、屋内幹線から直接配線してください。

添付の電源コードを使用する場合は、他の配線を分岐させないでください。

接地用端子 FG の対地アースは D 種とし、接地抵抗値は 100Ω 以下で単独アースと  
してください。

## 6-6. バッテリーの接続

停電時の動作を保証するため設置工事完了時にバッテリーを接続してください。



※バッテリーは、火災通報装置内に電池ラベルが  
無いほうを手前に筐体内に搭載してください。  
※バッテリーの耐用年数は約3年です。耐用年数  
を経過する前に新品のバッテリーと交換してく  
ださい。



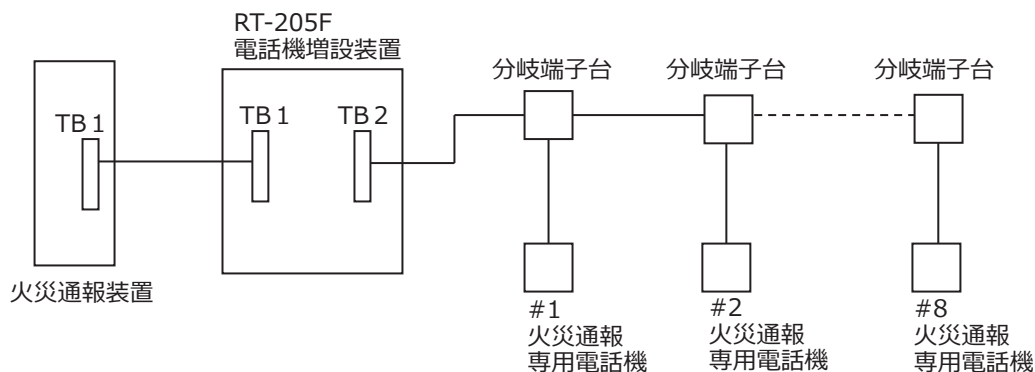
## 6-7. RT-205F 電話機増設装置（オプション）との接続

### 6-7-1. 概要

RT-205F 電話機増設装置は火災通報専用電話機を増設する場合に使用します。

本増設装置 1 台で火災通報専用電話機を最大 8 台まで接続できます。

### 6-7-2. システム構成例



### 6-7-3. 仕様

- (1) 入力 .....1 チャンネル
- (2) 出力 .....8 チャンネル
- (3) スピーカー出力 .....約 200mW
- (4) 使用電源 .....AC100V±10% (50/60Hz)
- (5) 消費電力 .....動作時 15VA 以下 (最大 8 台接続時)
- (6) 外形寸法・重量 .....315 (H) ×230 (W) ×65 (D) mm  
約 1.6kg (バッテリー含む)

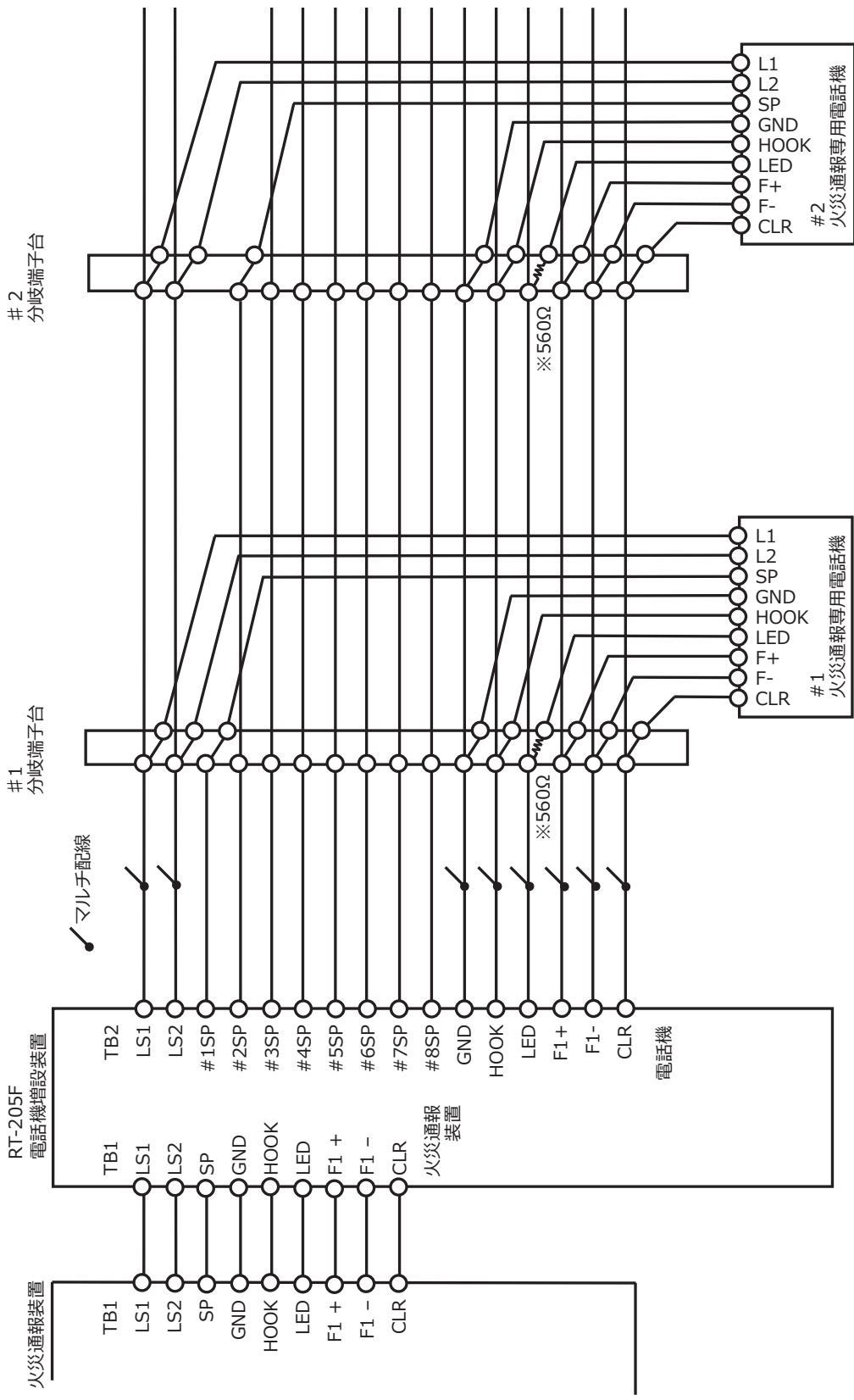
### 6-7-4. 添付品

- (1) 抵抗 (560Ω、1/2W) ..... 8 本
- (2) 鍵 (T-106) ..... 2 本
- (3) ヒューズ (日本製線 : FSL 250V 1A 相当品) ..... 2 本
- (4) ヒューズ (日本製線 : FSL 250V 0.5A 相当品) ..... 1 本
- (5) 電源コード ..... 1 本
- (6) バッテリー  
(GS ユアサ製 : PE12V0.8 相当品 12V0.8Ah 鉛蓄電池) ..... 1 個
- (7) 取扱説明書 ..... 1 部

#### 6-7-5. 工事要領

- (1) 火災通報装置と RT-205F 電話機増設装置、および火災通報専用電話機の接続は、分岐端子台を介して「6-7-6. 配線図」のように接続してください。
- (2) ランプ(LED) 電流を制御するため、火災通報専用電話機 1 台につき必ず 1 個ずつ添付の抵抗(560Ω、1/2W)を接続してください。
- (3) 火災通報専用電話機スピーカー音量の調整  
電話機増設装置の基板上のボリュームを右に廻すと電話機のスピーカー音量が大きくなります。  
◎RV3……………#1~#8 すべての火災通報専用電話機への音量が調整されます。
- (4) 配線に用いる電線は、以下を推奨とします。
  - (a) 心線径 0.5~0.9mmPVC 線または、同等以上の電線を使用してください。
  - (b) ノイズ耐性が必要な場合、シールド線、ツイスト線をご使用ください。
- (5) 断線監視、短絡監視を行う場合は、火災通報専用電話機との接続は送り配線とし、ダイオード、終端モジュールを接続してください。  
(6-2. 短絡監視を行う場合の接続、6-3. 断線監視を行う場合の接続参照。)
- (6) AC100V は連続通電されている電源より供給してください。  
接地用端子 FG の対地アースは D 種とし接地抵抗値は 100Ω 以下としてください。  
単独アースで接地をお願いします。

6-7-6. 配線図

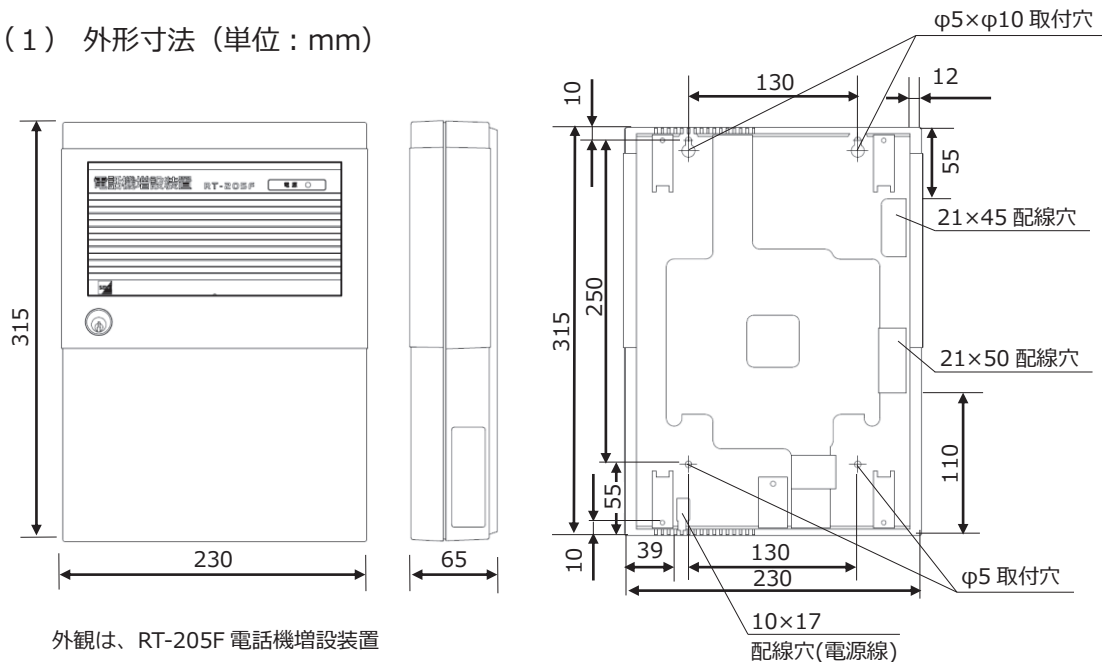


※必ず添付の 560Ω の抵抗を入れてください。

## 6-7-7. 取付工事

RT-205F 電話機増設装置の取付方法は下記の通りです。

### (1) 外形寸法 (単位: mm)




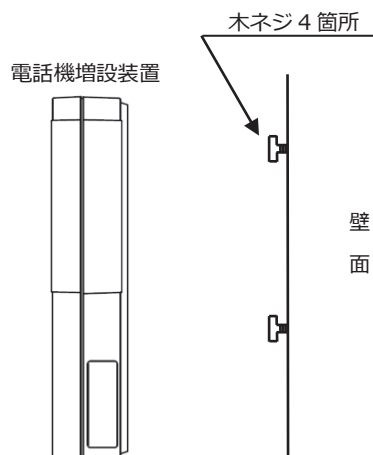
※カバーは正面向かって右開きに 90°以上です。  
設置に当たって右側のスペースを考慮してください。

材質 難燃性 ABS 樹脂  
色 オイスターグレー (8.9Y 8/0.6)

### (2) 設置

- ・ 電話機増設装置は壁掛専用です。保守点検時のことを考慮した高さで設置してください。
- ・ 壁がコンクリートのときは拡張型基礎ボルト 4 本を打ち込み固定してください。
- ・ 壁が木製の場合で、本体の重量を充分支えられる強度があれば木ネジにて固定します。ベニヤ等、強度が充分でない場合には補強工事を施してから固定してください。

 **注意**  
壁掛型となっていますので、  
取付の際は機器の落下に  
注意してください。  
けがの原因となります。

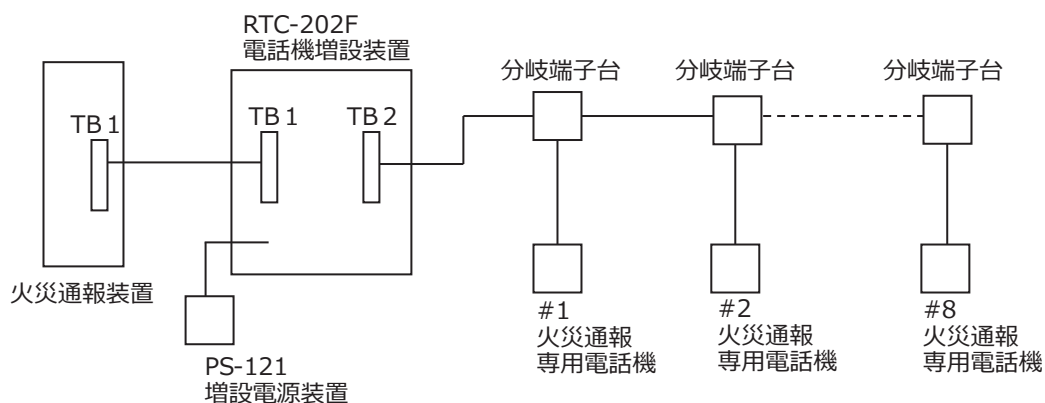


## 6-8. RTC-202F 電話機増設装置（オプション）との接続

### 6-8-1. 概要

RTC-202F 電話機増設装置は火災通報専用電話機を増設する場合に使用し、必ず PS-121 増設電源装置が必要となります。本増設装置 1 台で火災通報専用電話機を最大 8 台まで接続できます。

### 6-8-2. システム構成例



### 6-8-3. 仕様

- (1) 入力 .....1 チャンネル
- (2) 出力 .....8 チャンネル
- (3) スピーカー出力 .....約 200mW
- (4) 使用電源 .....DC12V (+4V、-2V)
- (5) 消費電流 .....700mA (最大 8 台接続時)
- (6) 外形寸法・重量 .....155 (H) ×230 (W) ×65 (D) mm 約 1kg

### 6-8-4. 添付品

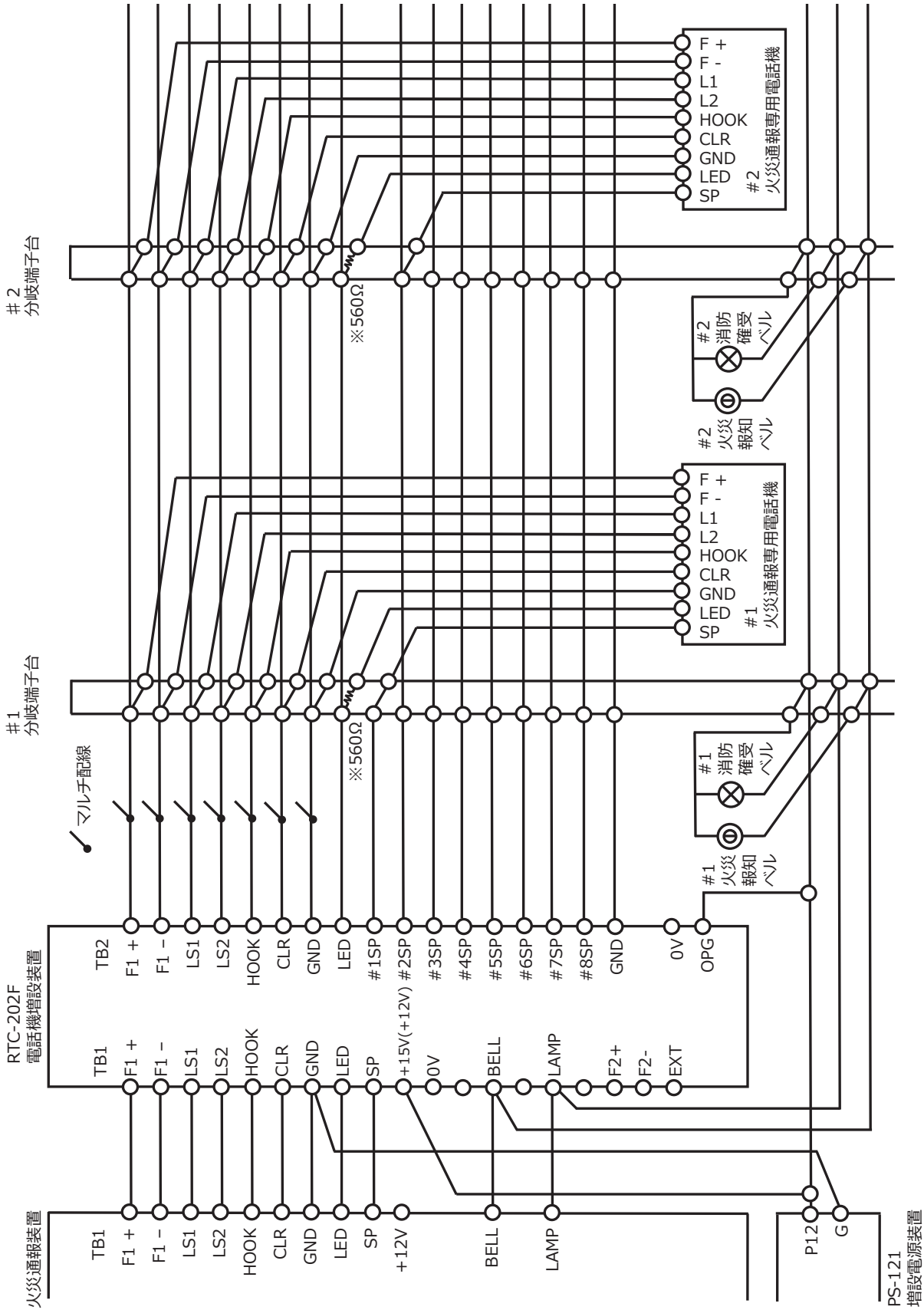
- (1) 抵抗(560Ω、1/2W) ..... 8 本
- (2) 鍵 (T-106) ..... 2 本
- (3) 取扱説明書 ..... 1 部

#### 6-8-5. 工事要領

- (1) 火災通報装置と RTC-202F 電話機増設装置、および火災通報専用電話機の接続は、分岐端子台を介して「6-8-6. 配線図」のように接続してください。
- (2) ランプ(LED) 電流を制御するため、火災通報専用電話機 1 台につき必ず 1 個ずつ添付の抵抗(560 Ω、1/2W) を接続してください。
- (3) 火災通報専用電話機スピーカー音量の調整  
電話機増設装置の基板上のボリュームを右に廻すと電話機のスピーカー音量が大きくなります。  
◎RV1……………#1～#4 の電話機の調整用  
◎RV2……………#5～#8 の電話機の調整用
- (4) 配線に用いる電線は、以下を推奨とします。
  - (a) 心線径 0.5～0.9mmPVC 線または、同等以上の電線を使用してください。
  - (b) ノイズ耐性が必要な場合、シールド線、ツイスト線をご使用ください。
- (5) 断線監視、短絡監視を行う場合は、火災通報専用電話機との接続は送り配線とし、ダイオード、終端モジュールを接続してください。  
(6-2. 短絡監視を行う場合の接続、6-3. 断線監視を行う場合の接続参照。)

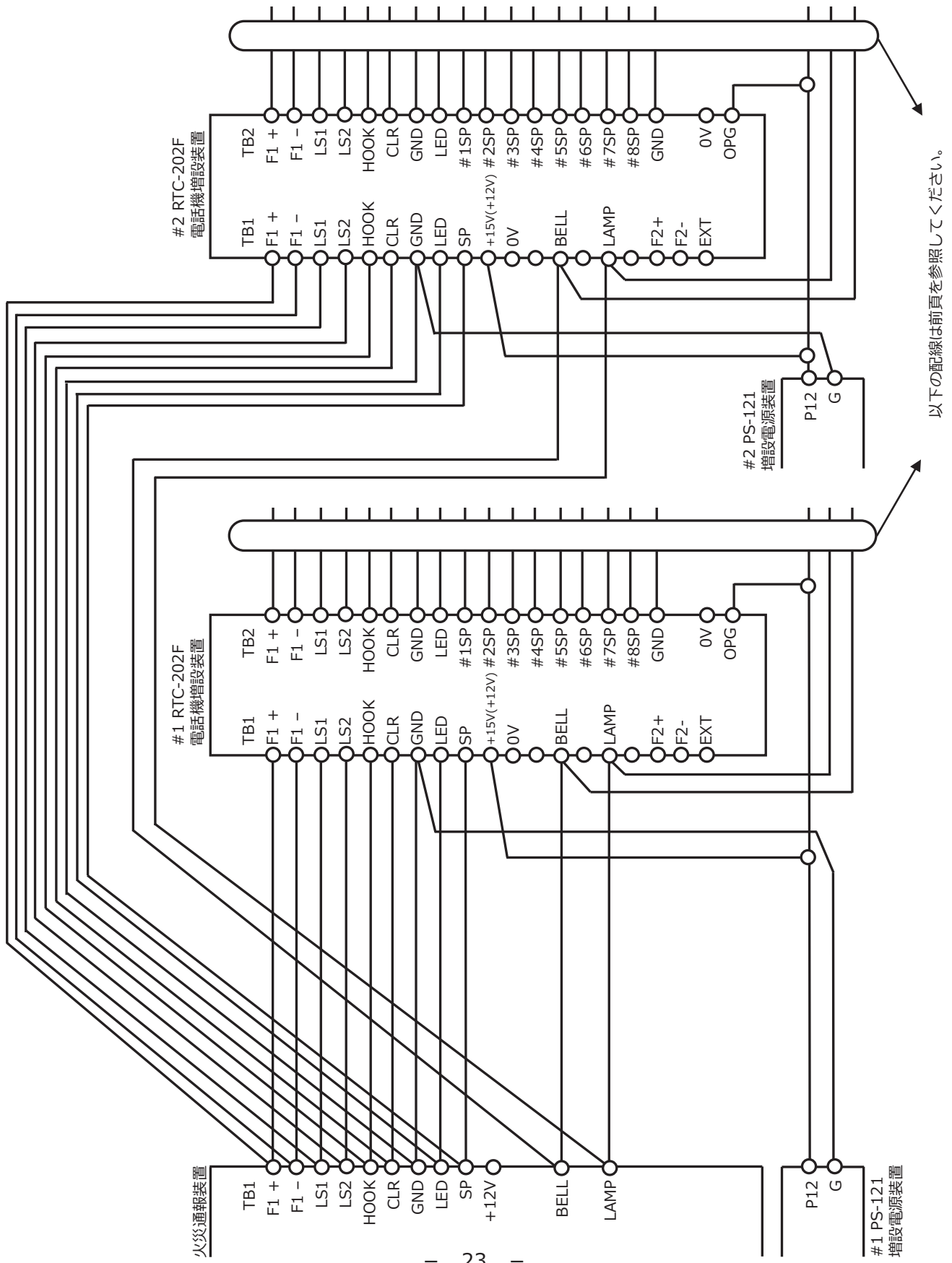
6-8-6. 配線図

(1) 火災通報専用電話機を3～8台で使用の時



※必ず添付の560Ωの抵抗を入れてください。

(2) 火災通報専用電話機を9～16台で使用の時



以下の配線は前頁を参照してください。



### 6-8-7. 取付工事

PS-121 増設電源装置と同様ですので、そちらを参照ください。

(「6-9-6. 取付工事」)

## 6-9. PS-121 増設電源装置 (オプション) との接続

### 6-9-1. 概要

RTC-202F 電話機増設装置用の動作用電源として使用します。

停電動作用にバッテリーを搭載可能です。

### 6-9-2. 機能

#### (1) 電源ランプ (緑)

AC100V 電源 通電時は点灯、停電時は消灯します。

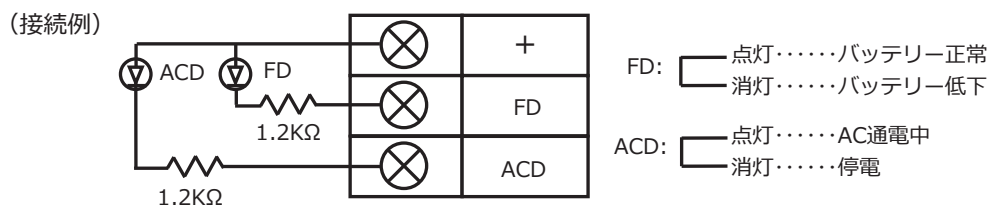
#### (2) 自己監視情報

PS-121 増設電源装置は、自己監視情報として以下の出力を有しています。

- ・ ACD : 停電情報 (オープンコレクタ)
- ・ FD : バッテリー電圧低下情報および外部出力ヒューズ断情報 (オープンコレクタ)

ACD、FD 端子に、ランプ等を接続する事で異常を監視することができます。

ただし、FD と ACD で使用する電流の合計は 100mA をこえないようにしてください。



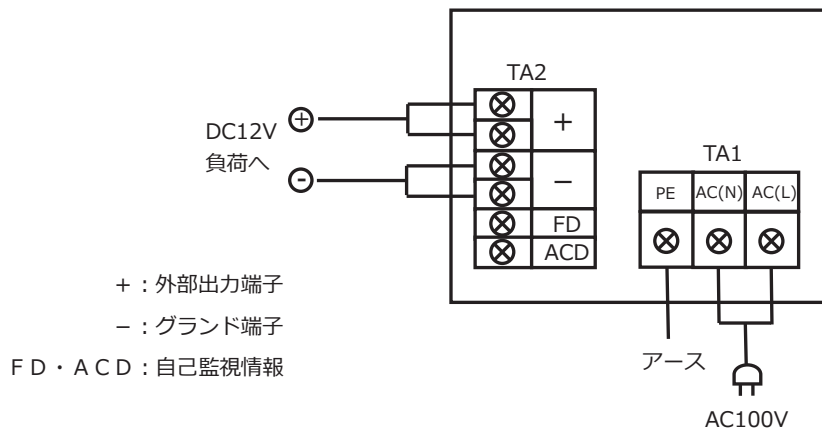
### 6-9-3. 仕様

- (1) 入力電源 ……………AC100V (50/60Hz)
- (2) 外部供給電源 ……DC12V (+4V、-2V) 最大 900mA
- (3) 外形寸法・重量 ……155 (H) × 230 (W) × 65 (D) mm 約 1.3kg  
(バッテリー含む)

#### 6-9-4. 添付品

- (1) ヒューズ 2.0A (日本製線 : FBR250V 2A 相当品) . . . 2本
- (2) ヒューズ 1.0A (日本製線 : FBR250V 1A 相当品) . . . 1本
- (3) バッテリー (トーカドエナジー製 : T10KRSCCH-W-SAK-7624  
12V 1200mAh ニカド電池) . . . . . 1個
- (4) バッテリー押さえ板 . . . . . 1枚
- (5) 押さえ板用ネジ . . . . . 2本
- (6) 鍵 (T-106) . . . . . 2本
- (7) 電源コード . . . . . 1本
- (8) 取扱説明書 . . . . . 1部

#### 6-9-5. 配線図

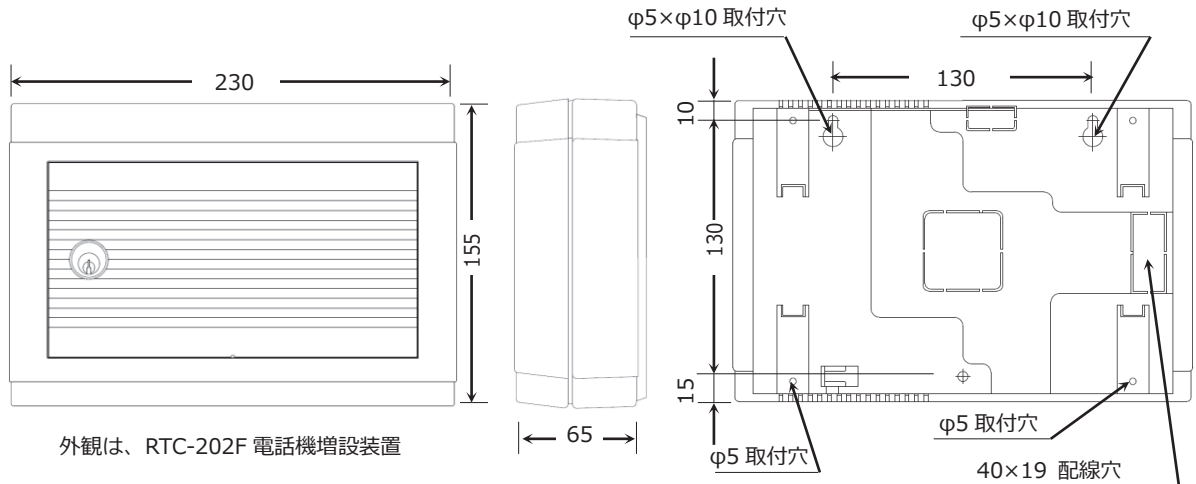


※AC100V は連続通電されている電源より供給してください。  
 接地用端子 FG の対地アースは D 種とし接地抵抗値は 100Ω 以下としてください。  
 単独アースで接地をお願いします。

## 6-9-6. 取付工事

RTC-202F 電話機増設装置・PS-121 増設電源装置の取付方法は下記の通りです。

### (1) 外形寸法 (単位: mm)



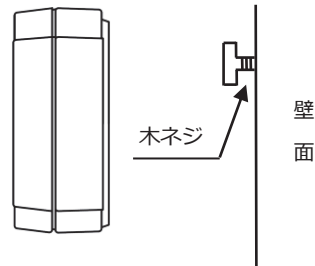
※カバーは正面向かって右開きに 90°以上です。  
設置に当たって右側のスペースを考慮してください。

### (2) 設置

- ・ RTC-202F 電話機増設装置・PS-121 増設電源装置は壁掛専用です。保守点検時のことを考慮した高さで設置してください。
- ・ 壁がコンクリートのときは拡張型基礎ボルト 4 本を打ち込み固定してください。
- ・ 壁が木製の場合で、各々の重量を充分支えられる強度があれば木ネジにて固定します。ベニア等、強度が充分でない場合には補強工事を施してから固定してください。



注意  
壁掛型となっていますので、  
取付の際は機器の落下に  
注意してください。  
けがの原因となります。



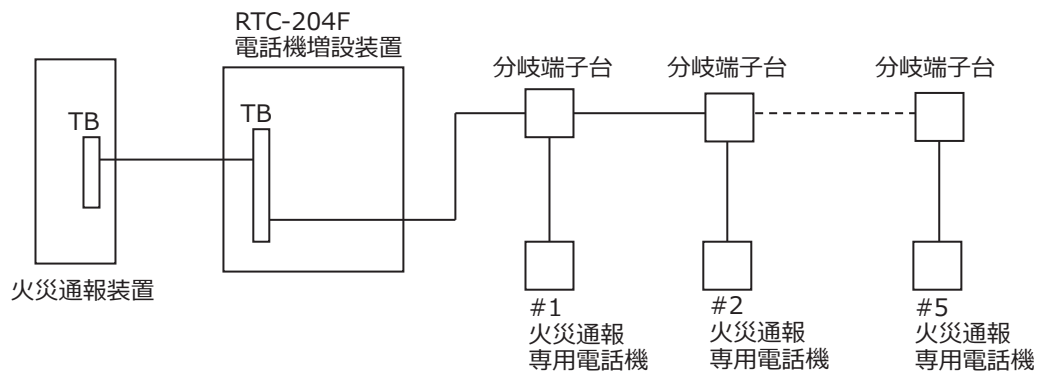
## 6-10. RTC-204F 電話機増設装置（オプション）との接続

### 6-10-1. 概要

RTC-204F 電話機増設装置は火災通報専用電話機を増設する場合に使用します。

本増設装置 1 台で火災通報専用電話機を最大 5 台まで接続できます。

### 6-10-2. システム構成例



### 6-10-3. 仕様

- (1) 入力 ……………1 チャンネル
- (2) 出力 ……………5 チャンネル
- (3) スピーカー出力 ……約 200mW
- (4) 使用電源 ……………AC100V±10% (50/60Hz)
- (5) 消費電力 ……………動作時 10VA (最大 5 台接続時)
- (6) 外形寸法・重量 ……315 (H) ×230 (W) ×65 (D) mm  
約 1.6 kg (バッテリー含む)

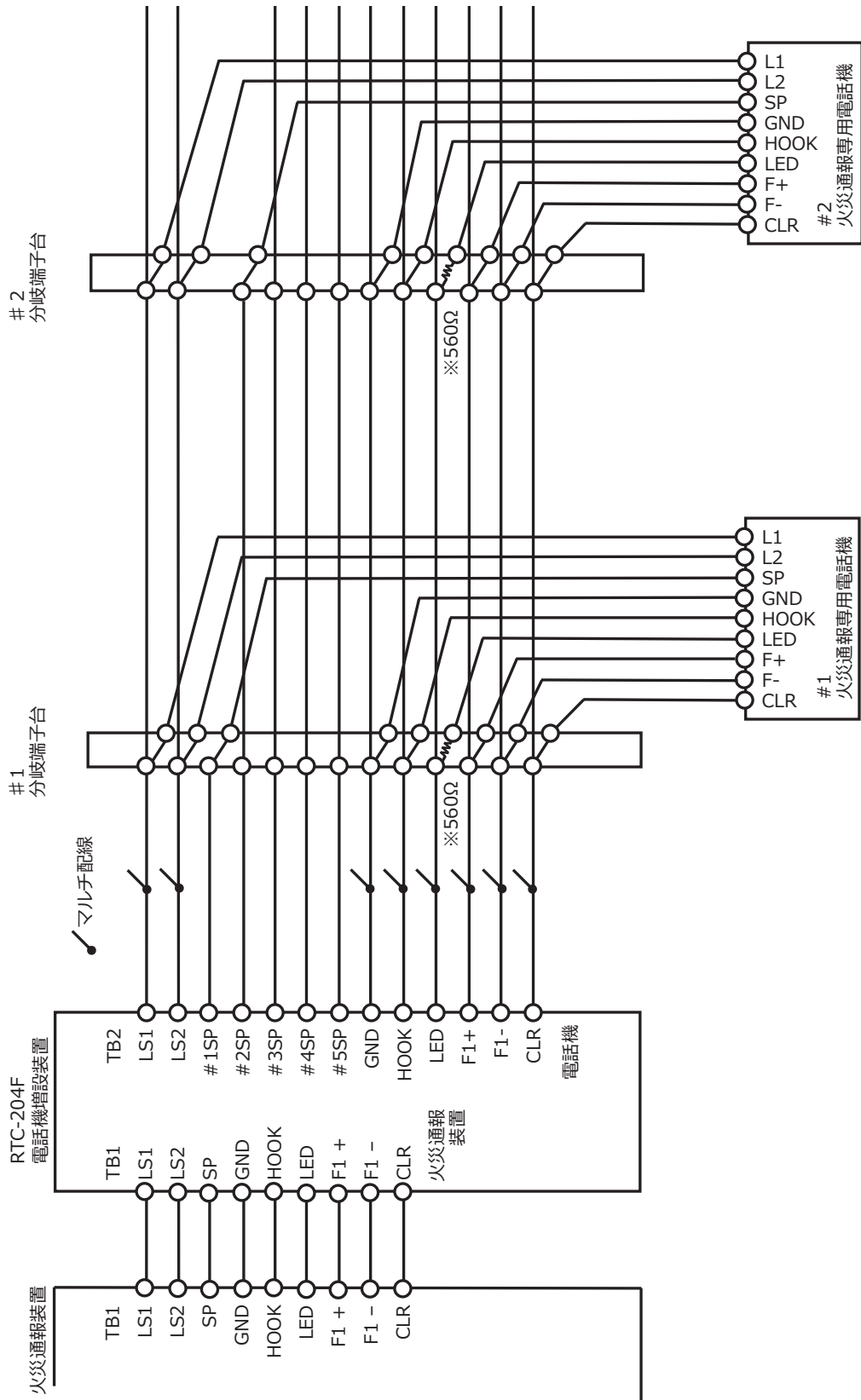
### 6-10-4. 添付品

- (1) 抵抗 (560Ω、1/2W) ……………5 本
- (2) 鍵 (T-106) ……………2 本
- (3) ヒューズ (日本製線 : FSL 250V 1A 相当品) ……………2 本
- (4) 電源コード ……………1 本
- (5) バッテリー  
(GS ユアサ製 : PE12V0.8 相当品 12V0.8Ah 鉛蓄電池) ……1 個
- (6) 取扱説明書 ……………1 部

#### 6-10-5. 工事要領

- (1) 火災通報装置と RTC-204F 電話機増設装置、および火災通報専用電話機の接続は、分岐端子台を介して「6-10-6. 配線図」のように接続してください。
- (2) ランプ(LED) 電流を制御するため、火災通報専用電話機 1 台につき必ず 1 個ずつ添付の抵抗(1/2W 560 Ω) を接続してください。
- (3) 火災通報専用電話機スピーカー音量の調整  
電話機増設装置の基板上のボリュームを右に廻すと電話機のスピーカー音量が大きくなります。  
◎VR1……………#1~#5 すべての火災通報専用電話機への音量が調整されます。
- (4) 配線に用いる電線は、以下を推奨とします。
  - (a) 心線径 0.5~0.9mmPVC 線または、同等以上の電線を使用してください。
  - (b) ノイズ耐性が必要な場合、シールド線、ツイスト線をご使用ください。
- (5) 断線監視、短絡監視を行う場合は、火災通報専用電話機との接続は送り配線とし、ダイオード、終端モジュールを接続してください。  
(6-2. 短絡監視を行う場合の接続、6-3. 断線監視を行う場合の接続参照。)
- (6) AC100V は連続通電されている電源より供給してください。  
接地用端子 FG の対地アースは D 種とし接地抵抗値は 100Ω 以下としてください。  
単独アースで接地をお願いします。

6-10-6. 配線図



※必ず添付の560Ωの抵抗を入れてください。

## 6-10-7. 取付工事

RT-205F 電話機増設装置と同様ですので、そちらを参照ください。(「6-7-7. 取付工事」)

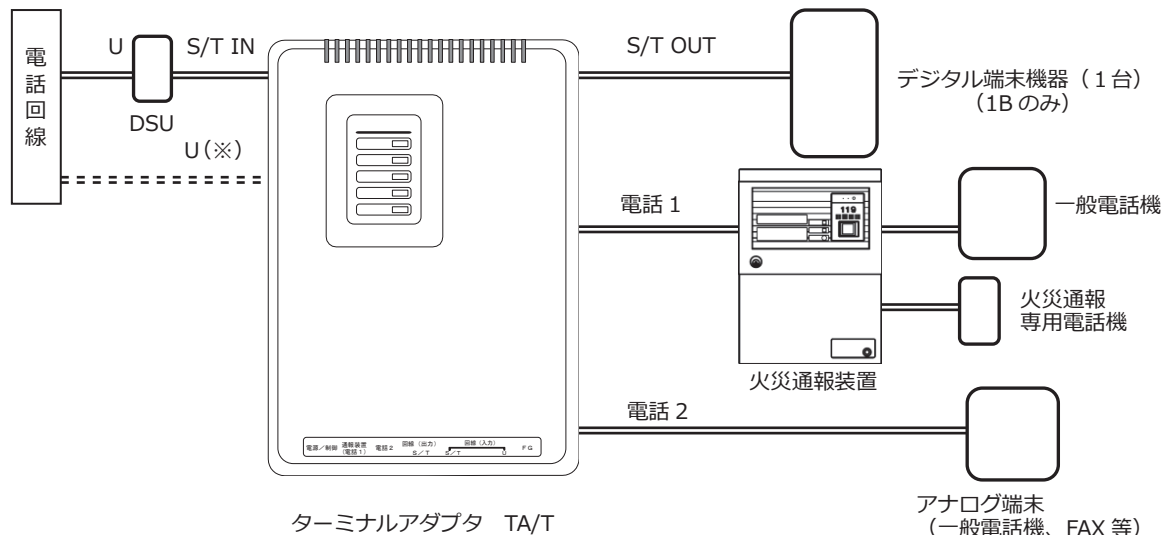
## 6-11. ターミナルアダプタ TA/T との接続

火災通報装置は、以下の方法にて ISDN 回線への接続が可能です。

(1) 火災通報装置を ISDN 回線に接続する場合は、必ず、下記のターミナルアダプタをご使用ください。

- ・ターミナルアダプタ TA/T (サクサ (株) 製)

(2) 接続方法例



※ターミナルアダプタ TA/T の内蔵 DSU を使用する場合は、外付け DSU は不要です。  
この場合は、電話回線を直接ターミナルアダプタ TA/T の「U」端子に接続してください。

(3) 動作試験を行う際は、サクサ (株) 製 iANTS-102 試験装置 (安全センター認定 : 評 13-052 号) をご使用ください。

- ・ iANTS-102 のお問合せはメーカーお問合せ窓口または購入先をお願いします。
- ・ iANTS-102 は生産終了しているため、新規購入はできません。

(4) 接続工事上の注意事項

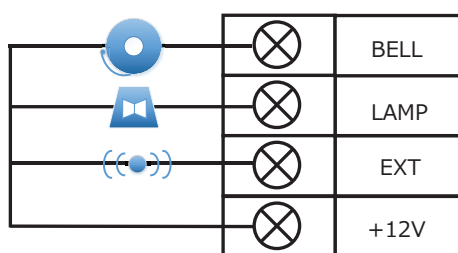
- ・ ターミナルアダプタ TA/T の電話回線側 (S/T IN) には、他のデジタル端末機器は接続しないでください。

- ・ ターミナルアダプタ TA/T は、火災通報装置の優先発信機能を持っています。火災通報装置が起動すると、他で使用している通信、通話が強制的に切断されますので、ご注意願います。

※詳細については、ターミナルアダプタ TA/T に添付の工事要領書「通報装置との接続詳細」を確認してください。(SD-205F との接続は SDE-204F と同等となります。)

## 6-12. 火災通報ベル、消防確受ランプ等との接続

火災通報ベル、消防確受ランプ等を使用する場合は以下のように端子台と配線してください。



- BELL: 火災通報ボタン押下から119番からの逆信を受けるまでの間作動します。
- LAMP: 逆信を受けてから通報動作の終了まで作動します。
- EXT: ボタン線に短絡、断線が発生した場合に作動します。

- ※ BELL 端子、LAMP 端子の動作の詳細は 8-5. LAMP 出力・BELL 出力機能を参照してください。
- ※ EXT 端子の動作の詳細は 8-3. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能及び、8-4. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能を参照してください。

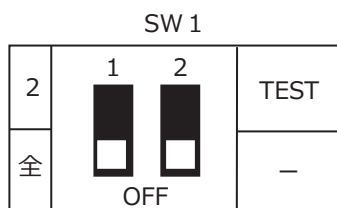


## 7. 設定および登録

火災通報装置は、設置条件にあわせた設定が必要です。設定するには、ディップスイッチおよびテンキーを使用します。

### 7-1. ディップスイッチによる設定 (SW1)

ディップスイッチにより 119 番通報を「する/しない」の設定を行います。



- (1) 「全/2」(119 番通報停止設定) 1 ビット目  
「全」: 119 番通報、一般通報を行います。  
「2」: 119 番通報を行わず、一般通報のみを行います。  
(通報試験に使用します)

通報試験後は必ず「全」側に戻してください。

- (2) 「TEST/-」 2 ビット目  
通常は使用しません。

必ず「-」側にしてください。

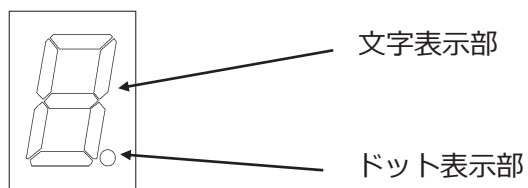
### 7-2. ジャンパーによる設定 (JP2、JP3/JP5)

逆信時の一般電話機鳴動設定を行います。

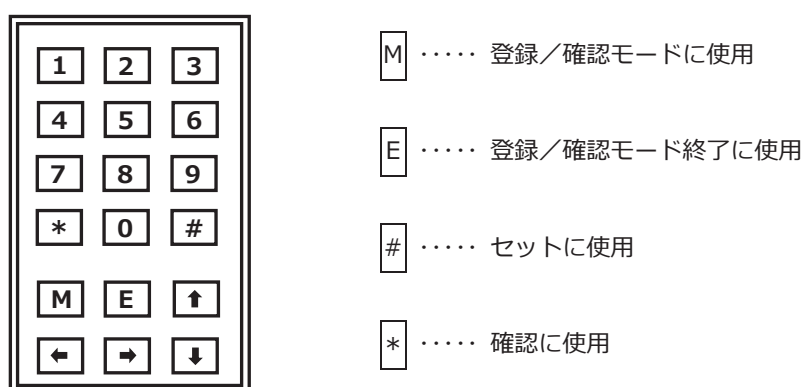
- (1) 逆信時の電話機ベル鳴動ジャンパー (JP2、3)  
ON 側 : 火災通報専用電話機・一般電話機の両方が鳴ります。  
OFF 側 : 火災通報専用電話機のみ鳴ります。(初期設定)  
(JP2、3 は必ず同一の設定にしてください。)
- (2) 火災通報専用電話機使用ジャンパー (JP5)  
ON 側 : 火災通報専用電話機を接続しない場合 (一般電話機の使用時)  
OFF 側 : 火災通報専用電話機を接続する場合 (初期設定)

※ON 側の場合、一般電話機 + 本体の構成でも本体の通話割込みボタン操作で通話割込み機能が使用できるようになります。

### 7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法



7セグメントLED (以下、7セグという)



テンキー

7セグとテンキーにより次の登録および確認を行います。

#### 7-3-1. 設定の登録方法

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **0 1 #** ~ **4 7 #** のうち登録したいコードを押します。
- (3) 登録したい内容の数字を押します。
- (4) もう一度 **#** を押します。(登録された内容が順次7セグに表示されます)
- (5) (2) ~ (4) の繰返しにより次項目を選択します。
- (6) 登録作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

〔登録内容一覧〕

項番	登録項目	コード □□#	登録内容	初期値
1	一般通報先	01~ 16	通報先電話番号 16 ヶ所 (入力桁数 : 3 桁~24 桁)	-
2	一般通報先の シリーズコール方法	17	0 : オールコール すべての通報先が応答するまで 1 : 応答エンド 1 ヶ所応答した所で通報打ち切り	0
3	一般通報時の火災報知ベル・ 消防確受ランプ出力	18	0 : 出力しない 1 : 出力する	1
4	メッセージの切替 (自火報連動起動の通報動作中に 火災通報ボタンが押されたとき)	19	0 : 自火報メッセージ 1 回送出後切替 1 : 自火報メッセージ途中でも切替	0
5	一般通報時の応答条件	20	0 : 1 メッセージをすべて聞いた場合 応答とみなす 1 : 1 回目のメッセージの途中で 通話切断となっても応答とみなす	1
6	音声検出用レベル	26	0 : 感度をよくする 1 : 標準 2 : 感度をにぶらせる	1
7	メッセージ送出開始時間	27	0 : 5 秒 1 : 10 秒	0
8	回線種別	31	1 : DP10pps 2 : DP20pps 3 : PB	1
9	0 発信の設定	33	0 : 0 発信なし 1 : 0 発信あり	0
10	F2 ルートの設定	34	0 : 自火報 1 : 火災通報ボタン	0
11	一般通報メッセージ 送出時間	35	0 : 300 秒 1 : 60 秒	0
12	通話割り込み タイミングの設定	36	0 : 即時 1 : 1 回目のメッセージ送出後	0
13	不定メッセージ CH	37	0 : F1→ACH、F2→BCH 1 : F1、F2→A+BCH	1
14	一般通報時のモニター	38	0 : モニターなし 1 : モニターあり	0

15	消防が応答する前までの 通報取り消し機能	39	0：あり 1：なし	0
16	送信メッセージ 「逆信してください」の付加	40	0：あり 1：なし	0
17	F1 ルート短絡 監視機能	41	0：なし 1：あり	1
18	F2 ルート短絡 監視機能	42	0：なし 1：あり	1
19	F1 ルート断線 監視機能	43	0：なし 1：あり	0
20	F2 ルート断線 監視機能	44	0：なし 1：あり	0
21	発信時の電話番号最終桁への ダイヤル付加機能 (PB 発信時のみ有効)	45	0：なし 1：ダイヤル「#」を付加する 2：ダイヤル「*」を付加する	0
22	F2 ルート通報停止機能	46	0：なし 1：あり	0
23	F2 ルート通報停止 自動解除機能	47	0：なし 1：あり	0

〔確認機能一覧〕

項番	登録項目	コード □□*	確認内容	初期値
1	F1 ルート メッセージモニターテスト	21	F1 ルートでの起動時に送出される メッセージ内容の聴取	－
2	F2 ルート メッセージモニターテスト	22	F2 ルートでの起動時に送出される メッセージ内容の聴取	－
3	F1 ルート シミュレーション	23	F1 ルートでの通報先電話番号を7セグ に順次表示後、メッセージ内容を聴取	－
4	F2 ルート シミュレーション	24	F2 ルートでの通報先電話番号を7セグ に順次表示後、メッセージ内容を聴取	－
5	バッテリー試験	25	正常：「ピンポ〜ン」を聴取 異常：「ピッピッピッ」を聴取	－
6	F1 ルート断線試験	51	正常：「ピンポ〜ン」を聴取 異常：「ピッピッピッ」を聴取	－
7	F2 ルート断線試験	52	正常：「ピンポ〜ン」を聴取 異常：「ピッピッピッ」を聴取	－
8	ソフトウェアバージョン表示	99	7セグにバージョン番号を順次表示	－

〔登録設定例〕

- (1) 0 1 # X X X X X X X X X X X X # …… 第1通報先 (最大 24 桁)  
 ~
- (16) 1 6 # X X X X X X X X X X X X # …… 第16 通報先 (最大 24 桁)  
 (X)には設定する通報先電話番号を入力してください。)
- (17) 1 7 # 0 # …………… オールコール (通報先すべてに通報)
- (18) 1 8 # 1 # …………… 一般通報時の火災報知ベル  
 消防確受ランプの出力有
- (19) 1 9 # 0 # …………… 自火報メッセージ1 回送出後にメッセージ切替
- (20) 2 0 # 0 # …………… 1 メッセージをすべて聴取で応答とみなす
- (21) 2 6 # 0 # …………… 音声検出時の感度を良くする
- (22) 2 7 # 1 # …………… メッセージ送出開始時間 10 秒
- (23) 3 1 # 1 # …………… 火災通報装置の回線種別 DP10pps
- (24) 3 3 # 0 # …………… 0 発信なし
- (25) 3 4 # 0 # …………… F2 ルートは自火報からの入力
- (26) 3 5 # 0 # …………… 一般通報メッセージ送出時間 300 秒
- (27) 3 6 # 0 # …………… 通話割込は即時
- (28) 3 7 # 1 # …………… 不定メッセージは F1、F2→A+BCH を送出
- (29) 3 8 # 0 # …………… 一般通報時のモニター機能なし
- (30) 3 9 # 0 # …………… 応答までの通報取り消し機能あり
- (31) 4 0 # 0 # …………… 「逆信してください」を付加する
- (32) 4 1 # 1 # …………… F1 ルートの短絡監視を行う
- (33) 4 2 # 1 # …………… F2 ルートの短絡監視を行う
- (34) 4 3 # 1 # …………… F1 ルートの断線監視を行う
- (35) 4 4 # 1 # …………… F2 ルートの断線監視を行う
- (36) 4 5 # 0 # …………… 発信電話番号最終桁にダイヤルを付加しない
- (37) 4 6 # 1 # …………… F2 ルート通報停止機能を有効
- (38) 4 7 # 1 # …………… F2 ルート通報停止自動解除機能を有効

7-3-2. 設定の確認方法

- (1) M を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) 0 1 \* ~ 4 7 \* のうち確認したいコードを押します。
- (3) 登録されている内容を順次7セグに表示します。
- (4) (2) ~ (3) の繰返しにより次項目を選択します。
- (5) 確認作業を終了したい場合は E を押します。  
 (7セグのドット表示部が消灯します。)

### 7-3-3. 設定の消去方法（一般通報先電話番号のみ）

- (1) **M** を押す。（登録／確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。）
- (2) **0 1 #** ～ **1 6 #** のうち消去したい通報先コードを押します。
- (3) もう一度 **#** を押します。（消去）
- (4) (2) ～ (3) の繰返しにより次項目を選択します。
- (5) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7セグのドット表示部が消灯します。）

消去例：**M 0 5 # #** で第5一般通報先の電話番号登録が消去されます。

### 7-3-4. 全登録内容の初期化方法（工場出荷時設定にもどす場合）

- (1) **M + ↑ + 9** キーを同時に押しながら装置を起動（※）します。
- (2) 7セグに **1.** が表示されたら、キーを離します。

このとき火災通報装置は特殊な動作モードになっています。

- (3) しばらくすると初期化処理が完了し結果を表示します。  
正常終了・・・・・・ **-.** （ハイフン）  
異常終了・・・・・・ **E.**
- (4) 初期化完了後、テンキーは何も押さずに、装置を再起動（※）します。

必ず、この再起動を実施してください。  
実施しなかった場合、火災通報をできません。

- (5) 登録内容が初期値になっていることを確認します。

※ 起動、再起動する場合は、火災通報装置にバッテリー接続していない状態で、電源 SW を OFF/ON してください。

### 7-3-5. 通報メッセージの試験方法（聴取）

#### ● 火災通報ボタン用メッセージ

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **2** **1** **\*** を押します。
- (3) 「ピッピッピッ、ピッピッピッ、火事です、火事です。  
【不定フレーズ ACH】。逆信してください。」
- (4) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

#### ● 自火報用メッセージ

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **2** **2** **\*** を押します。
- (3) 「ピンポン、ピンポン、自動火災報知設備が作動しました。  
【不定フレーズ BCH】。逆信してください」
- (4) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

※ 上記は、設定が以下の場合の動作です。

- ・ F2ルートの設定が「0：自火報」
- ・ 不定メッセージ CH 設定が「0：F1→ACH、F2→BCH」
- ・ 0 発信の設定が「0：0 発信なし」
- ・ 送信メッセージ「逆信してください」の付加の設定が「0：あり」

### 7-3-6. 通報動作の試験方法

● 火災通報ボタンの通報動作試験（実際に通報することはありません）

- (1) 

M
---

 を押す。（登録／確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。）
- (2) 

2
---

3
---

*
---

 を押します。
- (3) 

1.
----

1.
----

9.
----

 を表示と共に「イチ、イチ、キュウ」の音声と通報メッセージ「ピッピッピッ、……逆信してください。」を送出します。  
一般通報先の登録がされている場合は、各通報先について 

X.
----

X.
----

 …… 

X.
----

X.
----

（一般通報先電話番号）を7セグに表示し通報メッセージ「ピッピッピッ、……逆信してください。」を送出します。
- (4) 作業を終了したい場合は 

E
---

 を押します。  
（7セグのドット表示部が消灯します。）

● 自火報入力の通報動作試験（実際に通報することはありません）

- (1) 

M
---

 を押す。（登録／確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。）
- (2) 

2
---

4
---

*
---

 を押します。
- (3) 

1.
----

1.
----

9.
----

 を表示と共に「イチ、イチ、キュウ」の音声と通報メッセージ「ピンポ〜ん、……逆信してください。」を送出します。  
一般通報先の登録がされている場合は、各通報先について 

X.
----

X.
----

 …… 

X.
----

X.
----

（一般通報先電話番号）を7セグに表示し通報メッセージ「ピンポ〜ん、……逆信してください。」を送出します。
- (4) 作業を終了したい場合は 

E
---

 を押します。  
（7セグのドット表示部が消灯します。）

※ 上記は、設定が以下の場合の動作です。

- ・ F2 ルートの設定が「0：自火報」
- ・ 0 発信の設定が「0：0 発信なし」
- ・ 送信メッセージ「逆信してください」の付加の設定が「0：あり」



### 7-3-7. バッテリーの試験方法

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **2** **5** **\*** を押します。
- (3) 結果を音で知らせます。  
正常終了・・・・・・「ピンポ〜ン」音  
異常終了・・・・・・「ピッピッピッ」音
- (4) 結果の音を停止する場合は **E** を押します。
- (5) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

### 7-3-8. F1、F2 ルートの断線試験方法

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **5** **1** **\*** を押します。(F1 ルートの場合、F2 ルートの場合は、「52\*」)
- (3) 結果を音で知らせます。  
正常終了・・・・・・「ピンポ〜ン」音  
異常終了(断線発生時)・・・・・・「ピッピッピッ」音
- (4) 結果の音を停止する場合は **E** を押します。
- (5) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

#### ※ 断線発生時の7セグ表示について

断線発生時、設定「F1 ルート断線機能」の設定内容により7セグに以下の結果を表示します。

- 1**・・・・・・ 設定「F1 ルート断線機能」が「あり」に設定されている。
- 2**・・・・・・ 設定「F1 ルート断線機能」が「なし」に設定されている。

運用時もボタン線断線検出を行う場合、設定「F1 ルート断線機能」を「あり」に設定してください。(F2 ルートも同様です。)

### 7-3-9. ソフトウェアバージョンの確認方法

- (1) **M** を押す。(登録/確認モード開始、7セグのドット表示部が点灯します。)
- (2) **9 9 \*** を押します。
- (3) バージョンを順次7セグに表示します。

例) バージョン 1.12 の場合

0.	1.	.	1.	2.	.
----	----	---	----	----	---

 (01.12)

→ 表示順

- (4) 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
(7セグのドット表示部が消灯します。)

## 8. 機能

### 8-1. 通報の優先順位機能

火災通報装置は、自火報（F2）からの入力より火災通報ボタン（F1）が優先となります。

- （1）火災通報ボタンの通報動作中に自火報入力があっても無視されます。
- （2）自火報連動通報動作中に火災通報ボタン入力を検知した場合は、次のメッセージからまたは即時に（設定による）通報メッセージを火災通報ボタン用メッセージに切り換えます。

### 8-2. 強制切断機能

火災通報装置に接続された電話機を使用中に火災通報ボタン（F1）や自火報（F2）からの入力があった場合は、通話を強制切断し、通報動作を開始します。

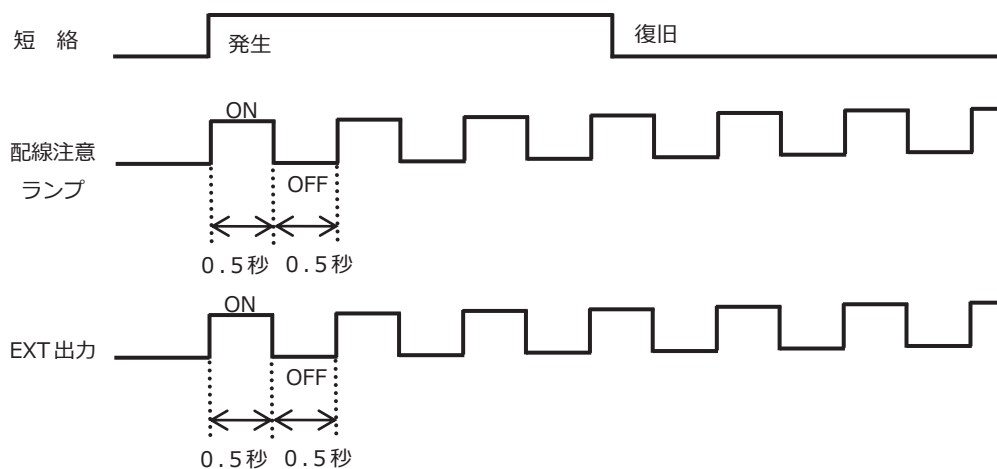
また呼び出し中や着信中も同様に強制切断します。

### 8-3. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能

火災通報ボタン（F1）または自火報（F2）の配線が障害により短絡した場合、EXT 端子に出力（0.5 秒間隔で断続出力）することができます。電子ブザーなどを取付けますと事故の事前チェックが可能です。

#### （1）外部表示

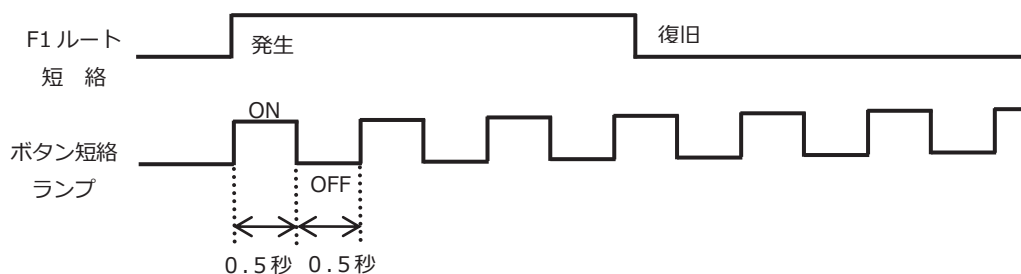
F1 ルート、F2 ルートの配線の短絡を検出した場合、配線注意ランプと EXT 出力に表示を行います。



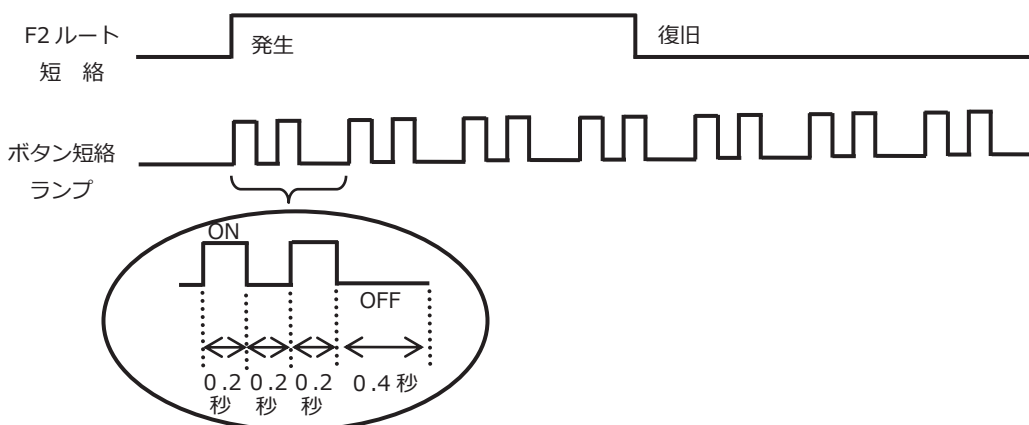
## (2) 内部表示

F1 ルート、F2 ルートの配線の短絡を検出した場合、ボタン短絡ランプに表示を行います。

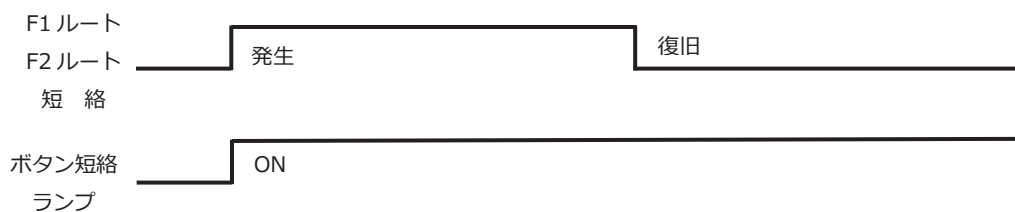
### ・ F1 ルートが短絡した場合



### ・ F2 ルートが短絡した場合



### ・ F1 ルート・F2 ルート共に短絡した場合



- ※ 短絡検出機能を使用する場合には、設定「F1 ルート短絡機能」、「F2 ルート短絡機能」を「あり」に設定し、火災ボタンの接続に短絡監視用の配線を行う必要があります。  
(6-2. 短絡監視を行う場合の接続 参照)
- ※ F1 ルートで短絡発生時は本体の火災通報ボタンによる通報は行えません。
- ※ 短絡発生の表示を停止するためには本装置を再起動する必要があります。

## 8-4. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能

火災通報ボタン(F1)または自火報(F2)の配線が、障害により断線した場合、EXT 端子に出力 (0.5 秒間隔で断続出力) することができます。電子ブザーなどを取付けますと事故の事前チェックが可能です。

### (1) ボタン線の断線監視タイミングについて

ボタン線の断線監視は以下のタイミングで行います。

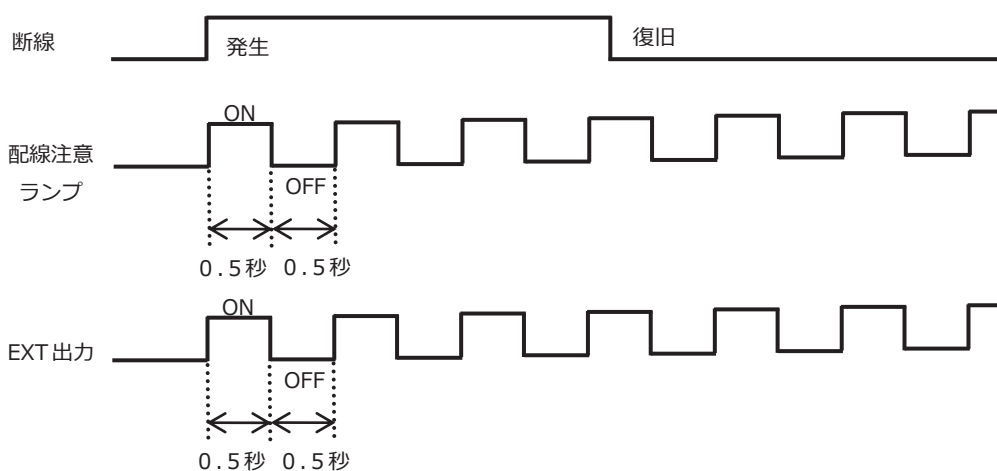
- ・ 火災通報装置の起動時
- ・ 登録/確認モードの終了時
- ・ 約 1 時間に 1 回の周期で実施
- ・ テンキー操作でボタン線断線試験を実行した場合

注) テンキー操作でボタン線断線試験を実行した場合、試験結果は 7 セグへの表示と音により知らせます。

試験結果が断線の場合も EXT 端子への出力は行いません。

### (2) 外部表示

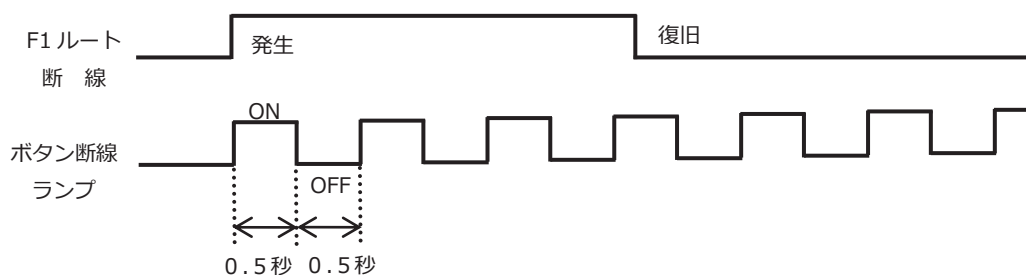
F1 ルート、F2 ルートの配線の断線を検出した場合、配線注意ランプと EXT 出力に表示を行います。



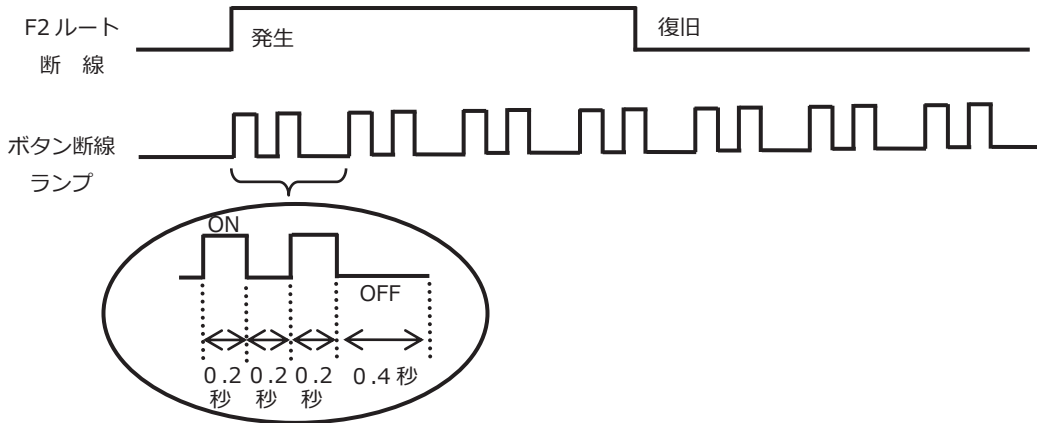
### (3) 内部表示

F1 ルート、F2 ルートの配線の断線を検出した場合、ボタン断線ランプに表示を行います。

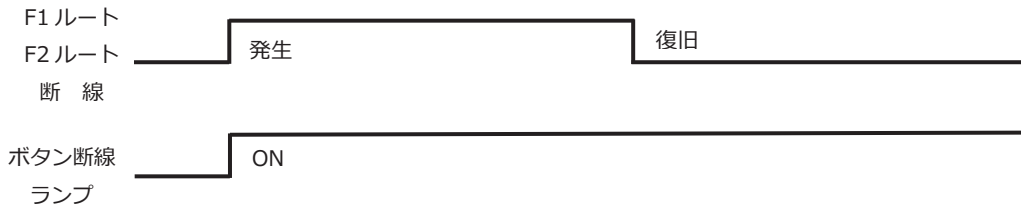
- ・ F1 ルートが断線した場合



・ F2 ルートが断線した場合



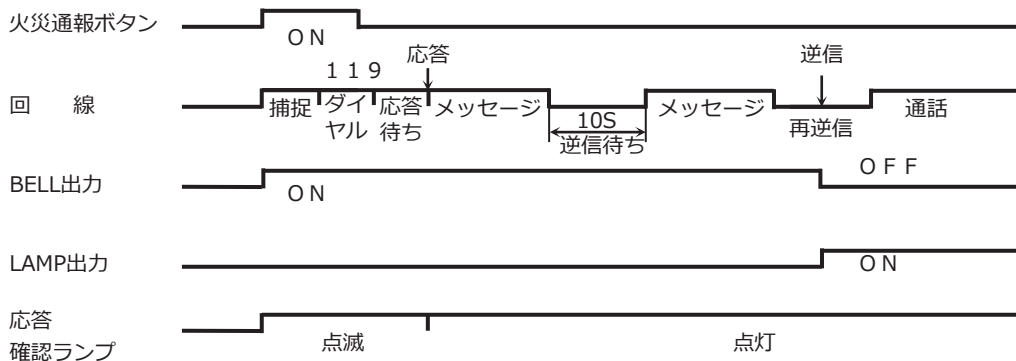
・ F1 ルート・F2 ルート共に断線した場合



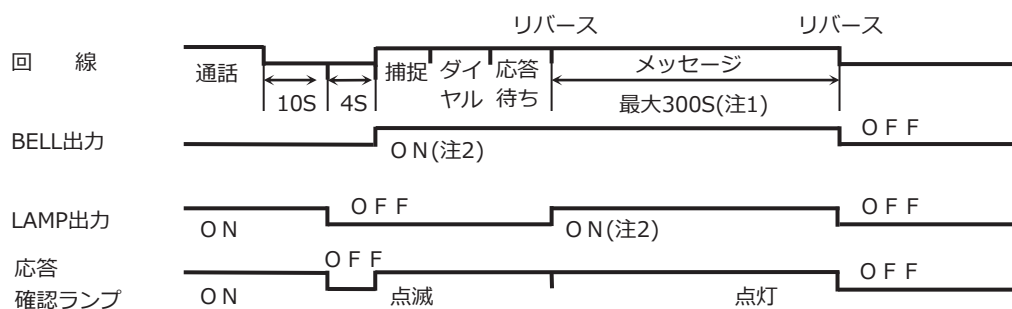
- ※ 断線検出機能を使用する場合には、設定「F1 ルート断線機能」、「F2 ルート断線機能」を「あり」に設定し、火災ボタンの接続に断線監視用の配線を行う必要があります。  
(6-3. 断線監視を行う場合の接続 参照)
- ※ 断線発生の表示を停止するためには本装置を再起動する必要があります。
- ※ 断線監視動作が有効な場合、約 1 時間に 1 回の周期でリレー動作音「カチッ」と聞こえますが、機器の故障ではありません。

8-5. LAMP 出力・BELL 出力機能

(1) 119 番通報の場合



(2) 一般通報 (1~16 件) の場合 (119 番通報からの継続動作時)



注 1) 一般通報メッセージ送出時間設定により、60 秒とすることができます。

注 2) 一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力設定により、BELL・LAMP 出力をなしにすることができます。

(7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法 参照)

## 8-6. メッセージ送出機能

音声 ROM パックに録音された音声メッセージを送出する機能があります。

2種類 (Aチャンネル、Bチャンネル) のメッセージが録音できます。

(1) 火災通報ボタンによる通報時の音声メッセージ

「ピッピッピッ ピッピッピッ 火事です 火事です。」

【Aチャンネルのメッセージ】逆信してください

(2) 自火報による通報時の音声メッセージ

「ピンポ〜ン ピンポ〜ン 自動火災報知設備が作動しました。」

【Bチャンネルのメッセージ】逆信してください

※ 録音時間はチャンネルごとに8秒間です。

※ 登録により、AチャンネルとBチャンネルのメッセージを連続して送出することもできます。

## 9. 使用方法

### 9-1. 操作方法

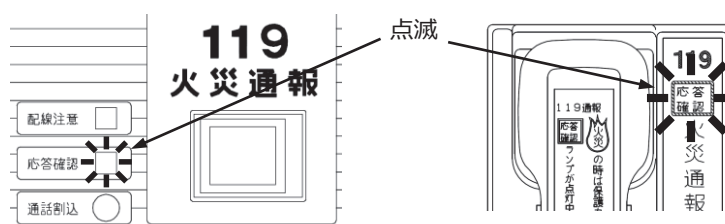
#### 9-1-1. 通報の開始

火災の発生を確認したら、火災通報ボタンを強く押します。(ボタンの保護カバーを押し割る)

火災通報装置の前面パネルにある火災通報ボタン、または、火災通報専用電話機の火災通報ボタンのどれを押しても作動します。

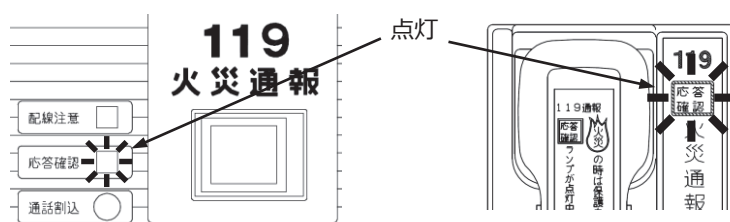


火災通報ボタンが押され火災通報装置が起動すると、**応答確認**ランプが**点滅**します。  
(点滅中、119番はまだ応答していません。)



#### 9-1-2. 119番へのメッセージ送出

119番が応答すると、**応答確認**ランプは**点灯**状態になります。通報されるメッセージが、火災通報装置および火災通報専用電話機のスピーカーから流れます。



メッセージを送出している間に、“通話割込”ボタンを押して電話機をオフフックすると、119番と通話することができます。電話機のオフフックと“通話割込”ボタンの操作は逆でも可能です。





### 9-1-3. 119番との通話

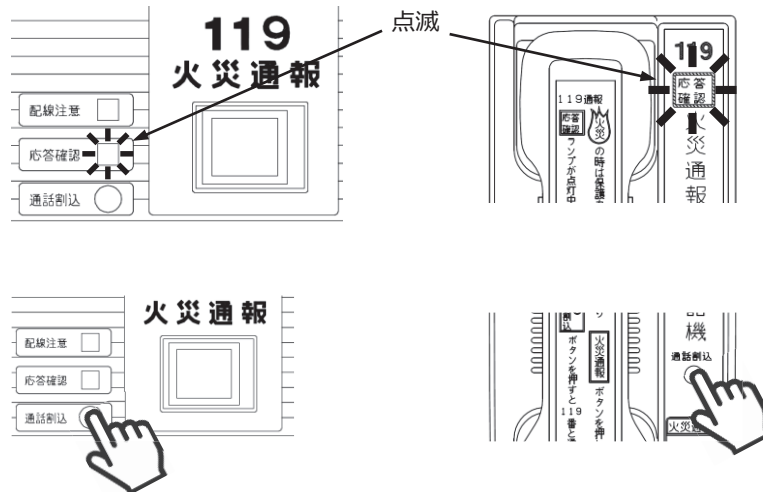
火災通報装置のスピーカーから呼出音が鳴り出したら、受話器を上げることにより、119番と通話することができます。

なお、火災通報専用電話機を接続している場合は、電話機のスピーカーからも呼出音が聞こえます。

### 9-1-4. 誤って火災通報ボタンを押してしまった場合

誤って火災通報ボタンを押してしまった場合、“通話割込”ボタンを押して通報を取消することができます。

応答確認ランプが点滅している時に“通話割込”ボタンを押すと、応答確認ランプが消えて全ての動作が終了します。（※設定項目「消防が応答する前までの通報取り消し機能」が「あり」の場合のみ可能です）



応答確認ランプが点灯している場合は通報の取消ができませんので、119番との通話時に誤った通報であることを申告してください。

※通報動作中、本体に接続された一般電話機は、通常の通話にはご使用になれません。

## 10. 保守

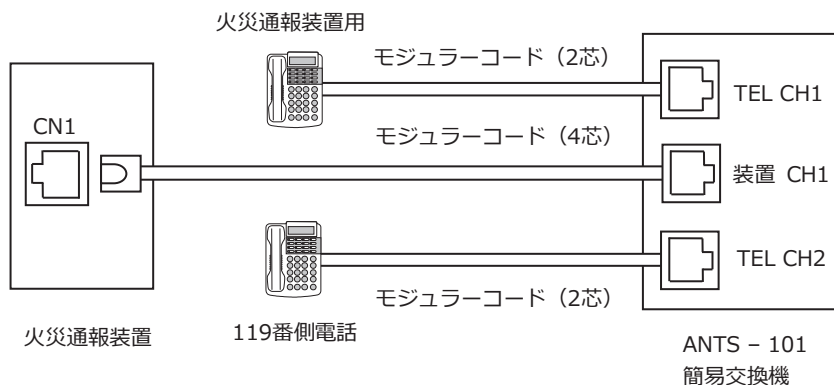
### 10-1. 動作試験

ANTS-101 簡易交換機を使用して動作試験を行う時は下記の要領にて行ってください。

(119 番へは通報しません。)

この試験を行う時は、火災通報装置に接続されている一般電話機が使われていないことを確認してから行ってください。

試験が終わった後は、電話回線の接続を元に戻し、一般電話機が使用できることを確認してください。



- (1) 上図の方法で接続します。
- (2) 火災通報装置と119番側電話機の間で、通報試験を行うことができます。
- (3) ダイヤル番号は **ダイヤル表示用 LCD** に表示されます。
- (4) 送出メッセージや通話内容は ANTS-101 簡易交換機の **内蔵スピーカー** よりモニターされます。
- (5) **逆信** スイッチを押すことにより、119番側から呼返し信号を送出することができます。
- (6) **話中** スイッチを押すことにより、119番を話中状態にすることができます。
- (7) 火災通報装置は119番以外の一般通報を行うこともできます。

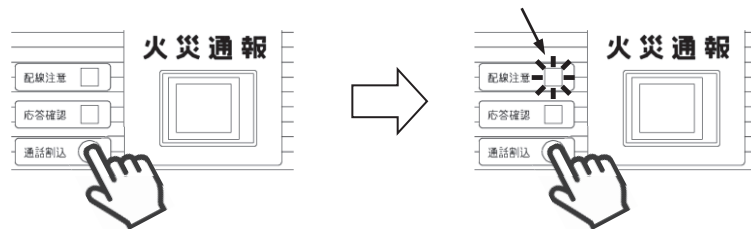
## 10-2. 自動火災報知設備からの通報を停止する

自火報の保守点検の際、火災通報装置の操作により保守点検操作による119番通報をしないようにすることが出来ます。

### (1) 通報停止状態にする

通話割込ボタンを5秒以上押すと通報停止状態になります。

(ボタン操作確定で「ピッ」音が鳴ります) 赤点灯



通報停止状態では、配線注意ランプが赤点灯し、自動火災報知設備からの起動信号では119番通報を行わなくなります。

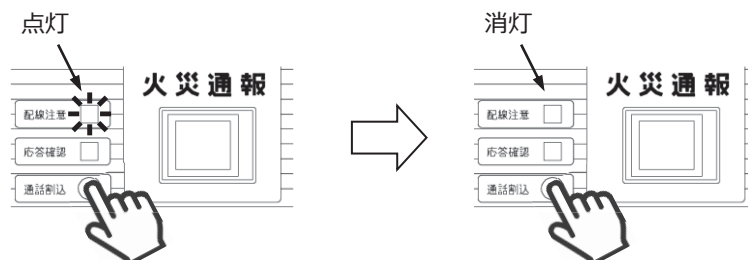
注1. ボタン線異常が発生している場合、通報停止を行うと配線注意ランプは赤と黄の交互点灯になります。

注2. 火災通報装置が通報を行っている場合(電源ランプが点滅している場合)、通報停止状態にすることは出来ません。

通報完了後に通話割込ボタンをもう一度操作してください。

### (2) 通報停止状態を解除する

保守点検の終了時には必ず、通話割込ボタンを5秒以上押して通報停止状態を解除してください。(ボタン操作確定で「ピッ」音が鳴ります)



通報停止状態が解除されると配線注意ランプが消灯し、自動火災報知設備からの起動信号により119番通報を行うようになります。

注1. ボタン線異常が発生している場合、通報停止状態を解除すると配線注意ランプは黄点滅になります。

○通報停止状態の自動解除設定について

設定「F2 ルート通報停止自動解除機能」を「あり」にすると、通報停止状態にしてから8時間後に自動的に通報停止状態を解除します。

万一の通報停止の解除忘れに備え、本設定を有効にすることをお勧めします。

※ 通報停止機能を使用する場合には設定「F2 ルート通報停止機能」を「あり」にする必要があります。

本設定の初期値は「なし」です。

※ 通報停止状態で設定「F2 ルート通報停止機能」を「なし」に設定した場合、または、火災通報装置を再起動した場合には通報停止状態が解除されますので注意願います。

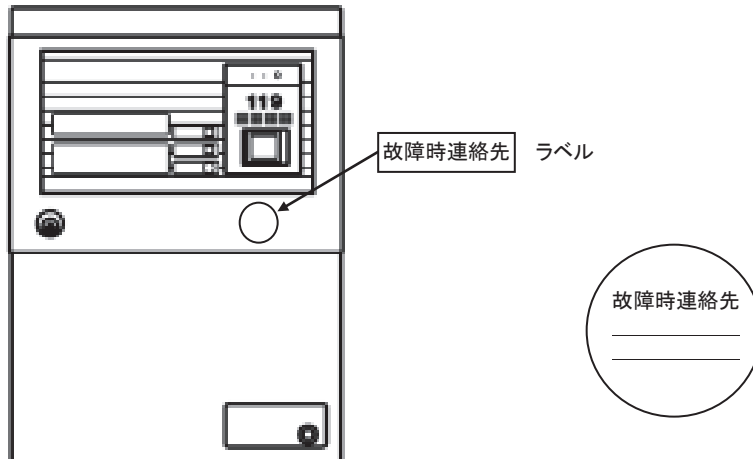
※ 火災通報専用電話機の通話割込ボタン操作では通報停止状態の切替は行えません。

### 10-3. 添付ラベルの貼付

火災通報装置に添付のラベルは、適切な運用を図るために必ず貼り付けてください。

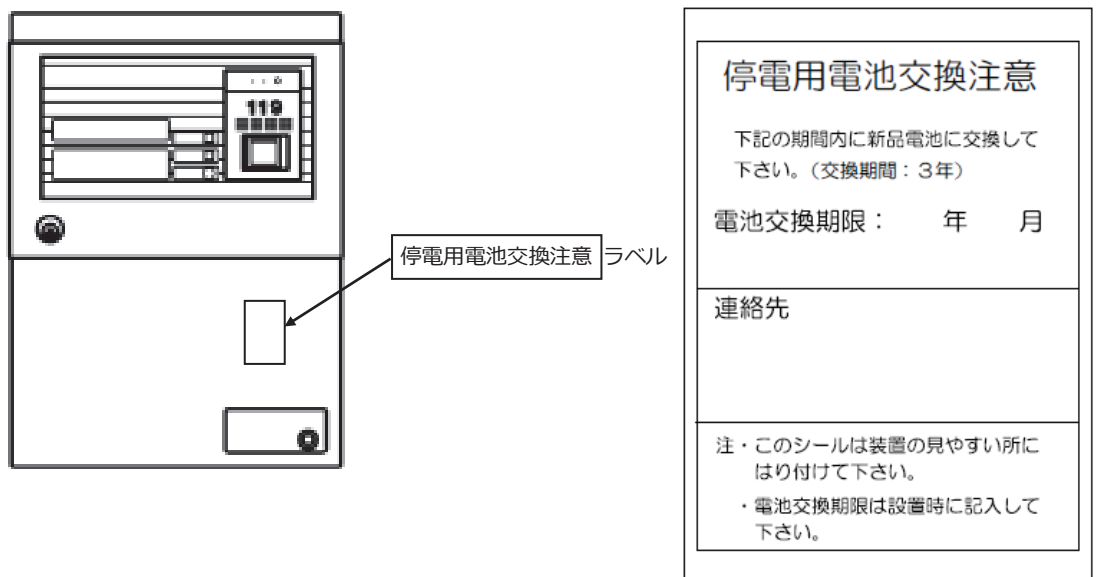
(1) **故障時連絡先** ラベル

必要事項（連絡先・電話番号）を記入し、下記の位置に貼り付けてください。



(2) **停電用電池交換注意** ラベル

必要事項（電池交換期限・連絡先）を記入し、下記の位置に貼り付けてください。



※電池交換期限が過ぎますと、万一の停電発生時に装置が正常に動作しないことがあります。

尚、記入内容についてはお客様を担当する保守業者とご相談ください。

#### 10-4. バッテリーの動作確認

バッテリーの劣化を確認するために、停電状態での通報試験で動作を確認します。  
バッテリーを接続したまま、電源スイッチを OFF にして停電状態にしたうえで  
試験通報などの動作確認を行ってください。

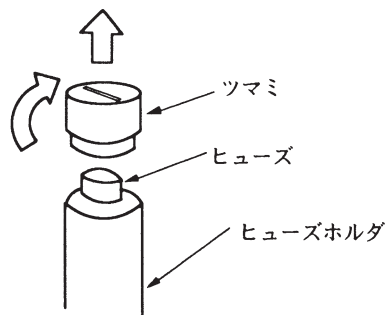
注) バッテリーの耐用年数は約3年です。耐用年数を経過する前に新品の鉛蓄電池と  
交換してください。(有料)

注) AC100V電源が切れている状態でバッテリーを接続した場合、電源ランプが  
点灯し数秒後に点滅に変わります。

#### 10-5. ヒューズの交換について

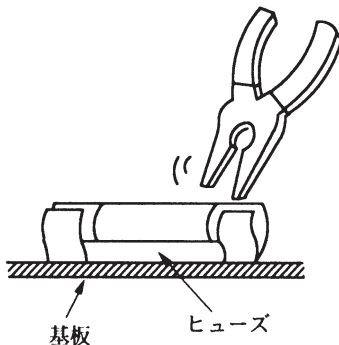
ヒューズは出荷時に装着されております。(5-2. 火災通報装置内部の各部名称参照)  
なんらかの原因によりヒューズが破損した場合は添付品と交換してください。

(1) AC電源用ヒューズ [F1、F2 : 1A (日本製線 : FSL 250V 1A)]



ツマミを矢印方向に廻し外し  
ます。  
中のヒューズを交換します。

(2) 外部供給電源用ヒューズ [F3 : 0.5A (日本製線 : FBR 250V 0.5A)]



はめ込み方式で固定されていま  
すのでペンチ等で交換しま  
す。  
(保護カバーがついています。)

#### 10-6. 火災通報ボタンのアクリルカバー交換について

通報等で火災通報ボタンの保護カバーを割ったあとは、添付品と交換してください。

## 1 1. IP 電話回線のご利用にあたっての注意事項

本装置は、インターネットプロトコルを使用した電話回線（IP 電話回線）に接続することが認められている火災通報装置です。

本装置を IP 電話回線に接続してご使用になる場合は、以下のご確認、ご対応をお願いいたします。

1. ご使用になる IP 電話回線で消防機関への発信が可能であること。
2. ご使用になる IP 電話回線で消防機関からの呼出信号を受信可能であること。
3. 一般電話機や FAX 等、同一の IP 電話回線に接続する他の機器等が行う通信の影響により、本装置の機能に支障を生じる恐れのない回線契約および接続位置とすること。
4. ご使用になる IP 電話回線を構成する機器（回線終端装置等）が存在する場合、それらの機器に対しても、火災通報装置と同様の動作時間を可能とする予備電源が必要となること。構成する機器が存在しない場合でも、その回線が停電時に使用可能であること。
5. ご使用になる IP 電話回線の契約内容、回線終端装置等の設定によっては、消防機関との通話ができない可能性がありますので、詳細につきましては電話回線の通信事業者へご相談ください。
6. 上記以外にも設置に関する条件がございますので、関係する省令、告示等をご確認願います。
  - ・「消防法施行規則の一部を改正する省令」（平成 28 年 2 月 24 日 総務省令 第 10 号）
  - ・「火災通報装置の基準の一部を改正する件」（平成 28 年 2 月 24 日 消防庁告示 第 6 号）
  - ・「消防法施行規則の一部を改正する省令及び火災通報装置の基準の一部を改正する件の公布について（通知）」（平成 28 年 2 月 24 日 消防予 第 49 号）

## 12. トラブルシューティング

	症 状	原 因	処 置
電 源	電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ TB2 端子 AC100-FG 接続ミス</li> <li>■ 1 次側に AC100V が流れていない。</li> <li>■ ヒューズが切れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続を確認してください。</li> <li>● TB2 端子 AC100V をテスターで確認してください。</li> <li>● AC100V 電源ヒューズ F1・F2 をそれぞれ確認してください。 (火災通報装置の電源ランプ確認)</li> </ul>
	火災通報装置本体の火災通報ボタンを押しても119番通報ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回線種別の設定がまちがっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話回線のダイヤル方式を確認し、正しい設定にしてください。 ダイヤル式 (DP10・DP20) プッシュボタン式 (PB) 「確認方法」 火災通報装置または火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押した時、119番をダイヤルする音が聞こえ、その後呼出トーンがでます。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電話回線の接続がまちがっている。 (ピンク回線は接続できない) (ISDN回線には直接接続できない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 添付ローゼットのL1・L2に加入回線からの配線が接続されているか確認してください。 「確認方法」 ローゼットのT1・T2に接続されている線をはずし、L1・L2にテスターで適切な電圧があるかを確認する。 (テスター用送話器にてトーンが出ているか確認)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 他の装置を経由して火災通報装置に電話回線が接続されている。 (0088等のアダプタがついている)</li> <li>■ 本体が登録／確認モードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話回線(アナログ回線)を火災通報装置(L1, L2)に接続してください。 他の装置は(T1, T2)側に接続してください。</li> <li>● 登録／確認モードを解除してください。 「確認方法」 7セグのドット表示部「.」が点灯している場合、登録／確認モード中です。</li> </ul>



症 状	原 因	処 置
<p>火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押しても119番通報ができない。</p>	<p>■ 火災通報装置と火災通報専用電話機間の配線がまちがっている。</p> <p>■ 専用電話機内のコネクタがはずれている。</p> <p>■ 他に押しボタンがついており、押し切りになっている。</p>	<p>● 正確に接続してください。 「確認方法」 火災通報専用電話機のF+・F-をテスターで確認。 DC13V程度あれば、ボタンが押されていない状態。 0Vなら押された状態または、接続ミス。</p> <p>● コネクタをきっちりとはめてください。</p> <p>● 全ての押しボタンを確認し引き上げてください。</p>
<p>消防から逆信を送っているが火災通報専用電話機から呼出し音が鳴らない。(送受話器をあげると、通話ができる。)</p>	<p>■ 火災通報専用電話機のフックがあがっていない。</p> <p>■ 火災通報装置の前にFAXやビジネスホン主装置が接続されている。(FAXと同じ回線は、逆信時FAXが着信してしまいうため使用できない。)</p> <p>■ 逆信待ちの10秒間に電話局交換機からの逆信信号が届いていない。</p>	<p>● フックを確実にかけてください。 「確認方法」 火災通報装置のHOOKとGNDの端子をテスターで確認。 DC13V程度あるか。 (0Vならフックがあがっている。)</p> <p>● FAXやビジネスホン主装置の前に火災通報装置を接続してください。</p> <p>● 消防指令台の逆信操作を速やかに且つ3秒以上の長押しで行っていただけるよう、消防局に依頼してください。</p>
<p>火災通報ボタンを押しても、火災通報専用電話機の応答確認ランプがつかない。</p>	<p>■ 火災通報装置と火災通報専用電話機の配線がまちがっている。</p> <p>■ 火災通報専用電話機から本体まで距離が遠い。(200m以上、20Ω以下)</p> <p>■ 560Ωの抵抗がついていない。</p> <p>■ 火災通報専用電話機3台以上の場合、増設電源装置がついていない。(電源容量不足)</p>	<p>● 正確に接続してください。</p> <p>● 増設装置と火災通報専用電話機の配線距離が短くなるよう増設装置を火災通報専用電話機の近くに設置して下さい。</p> <p>● 抵抗をつけてください。</p> <p>● 増設電源装置をつけてください。</p>

# 【保守サービスのご案内】

## ●本システムには、保証書がついております

保証書は、本取扱説明書についておりますので「販売店、お買い上げ年月、製造番号」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管ください。

## ●保証期間は、お買い上げ日から1年間です

※保証期間中でも有料になることがあります。保証書をよくお読みください。  
※本システムの不具合により生じた損害の補償について当社では、一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## ●故障またはお問い合わせについて

故障修理の場合は、サクサテクノ（株）カスタマーサポートセンタ（0238-21-8109）にてお受けいたします。

機器のお問い合わせについては、お客様相談室（0570-001-393）へお問い合わせください。

## ●保証期間中の修理について

正常な使用状態で発生した故障につきましては、保証書の記載内容に基づき無料で修理致します。修理時に保証書をご提示ください。

## ●保証期間経過後の修理について

修理によって本システムの性能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承下さい。）

## お問い合わせ窓口のご案内

このたびは、当社の商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

商品についての、お問い合わせ、ご相談、アフターサービス（修理）などにつきましては、お求めになりました販売店または下記の営業窓口にご連絡ください。

### ●営業窓口

#### サクサ株式会社

〒108-8050 東京都港区白金 1-17-3 NBF プラチナタワー

##### ■ソリューション事業部

第一営業部	TEL (03)5791-5524	札幌営業所	TEL (011)281-1035
第二営業部	TEL (03)5791-3931	大宮営業所	TEL (048)650-9311
第三営業部	TEL (03)5791-5530	静岡営業所	TEL (054)653-7711
東北支社	TEL (022)297-5835	金沢営業所	TEL (076)255-0393
中部支社	TEL (052)220-3930	高松営業所	TEL (087)861-7450
関西支社	TEL (06)6367-0393	広島営業所	TEL (082)511-7555
九州支社	TEL (092)473-1511		

#### サクサビジネスシステム株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-7-6 藤和東五反田ビル 6F

東北支社	TEL (022)298-6544	札幌営業所	TEL (011)281-1037
関東支社	TEL (03)3445-0392	広島営業所	TEL (082)228-5230
中部支社	TEL (052)220-3936		
関西支社	TEL (06)6361-3336		
九州支社	TEL (092)473-1527		

### ●お問い合わせ・障害受付窓口

商品に関するお問い合わせや障害時の受付は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室



0570-001-393 / (050)5507-8039

【E-mail】customer@saxa-as.co.jp

【URL】http://www.saxa.co.jp

※上記の住所・電話番号などは都合により、変更になる場合がございます。

※「お問い合わせ窓口のご案内」は、修理・サービスの時に必要になりますので大切に保管してください。



この記載内容は平成 28 年 8 月現在のものです。

1275 NT | 168-1 | Y

4531068000

## 通報内容登録用紙

- 火災通報装置のご使用に際しては、消防署長に届出が必要です。通報内容は設置場所ごとに異なりますので通報内容を所轄消防署と確認の上、消防署指定の届出書にて届出をしてください。
- 届出した通報内容の録音につきましては、録音内容を下記にご記入の上、ご購入の販売店または、サクサ窓口の本用紙と ROM パックをご返送ください。
- 通報内容は、固定フレーズと不定フレーズでできています。固定フレーズは、すでに録音済です。

注) 不定フレーズは 8 秒以内または、16 秒以内になる様にフレーズ内容を作成してください。

本 設 置 場 所			
工 事 店 様 名 住 所			
	〒	TEL (     )	-
代 理 店 様 名	TEL (     )     -		
サクサ(株)各営業所			
ROM パック種別	<input type="checkbox"/> SD-205F 用 <input type="checkbox"/> SDE-204F(4)用 <input type="checkbox"/> SDE-204F(3)用     (いずれかを選択してください)		

通報内容を御記入ください。(フリガナも必ずご記入ください。数字にも必ずフリガナを付けてください。)

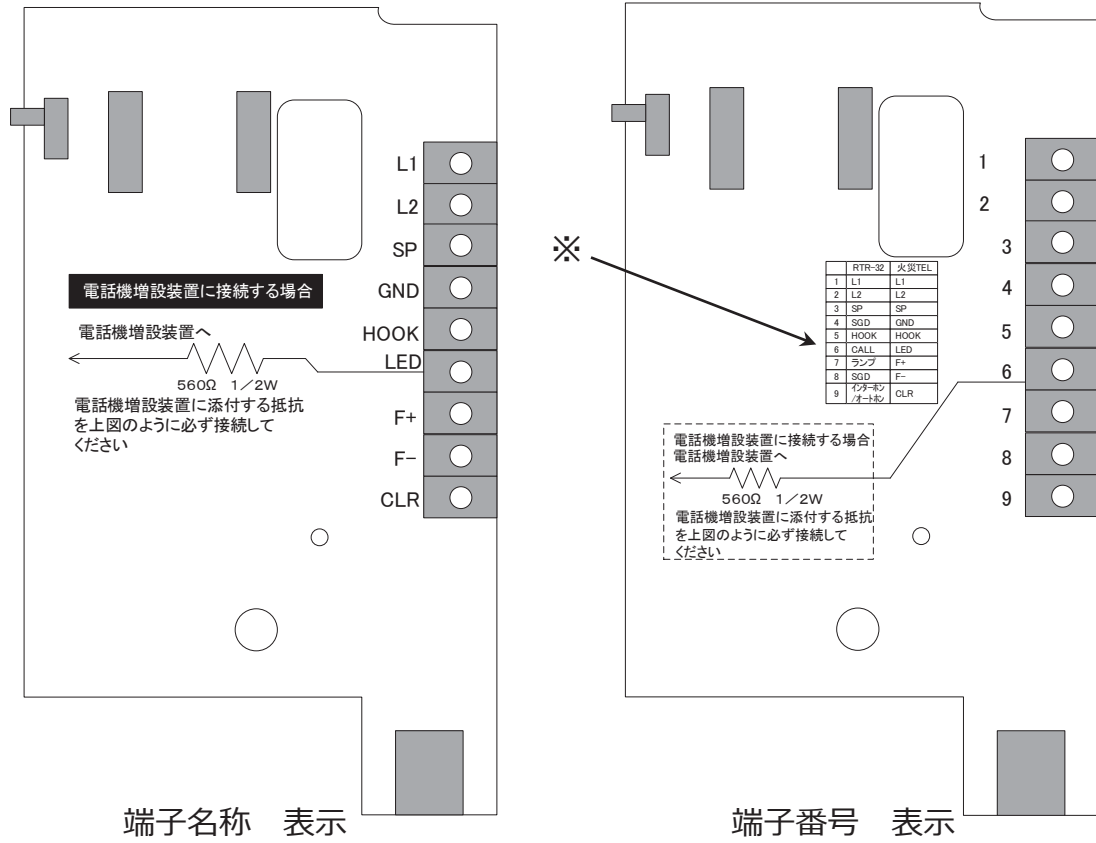
固定フレーズ	不定フレーズ (火災通報装置設置届出書の通報内容)	固定フレーズ
ピピピ ピピピ 火事です。 火事です。 または、 ピンポン ピンポン 自動火災報知設備 が作動しました。	(フリガナ)	逆信して ください。
	(フリガナ)	
	(フリガナ)	
	(フリガナ)	

### ■ 通報内容記入例

固定フレーズ	不定フレーズ	固定フレーズ
ピピピ ピピピ 火事です。 火事です。 または、 ピンポン ピンポン 自動火災報知設備 が作動しました。	(フリガナ) コチヲ ミナクシカセバ ヲウナリサ フクシセツカケン デス	逆信して ください。
	こちらは、港区白金 1-17-3 福祉施設サクサ苑です。	
	(フリガナ) デンバノゴウ ルゴナキウチ コゴニシ デス	
	電話番号は 5791 - 5524 です。	

## 火災通報専用電話機 接続端子について

- 接続端子の表示は、製造時期により「端子名称」で明記するもの、「端子番号」で明記するものがあります。



- ※ 端子番号表記の電話機では、プリント基板上に端子番号と名称の対照表を表示しています。

	火災 TEL
1	L1
2	L2
3	SP
4	GND
5	HOOK
6	LED
7	F+
8	F-
9	CLR